
常滑市地域公共交通計画
(素案)
【資料編】

令和5年7月14日時点
常 滑 市

目次

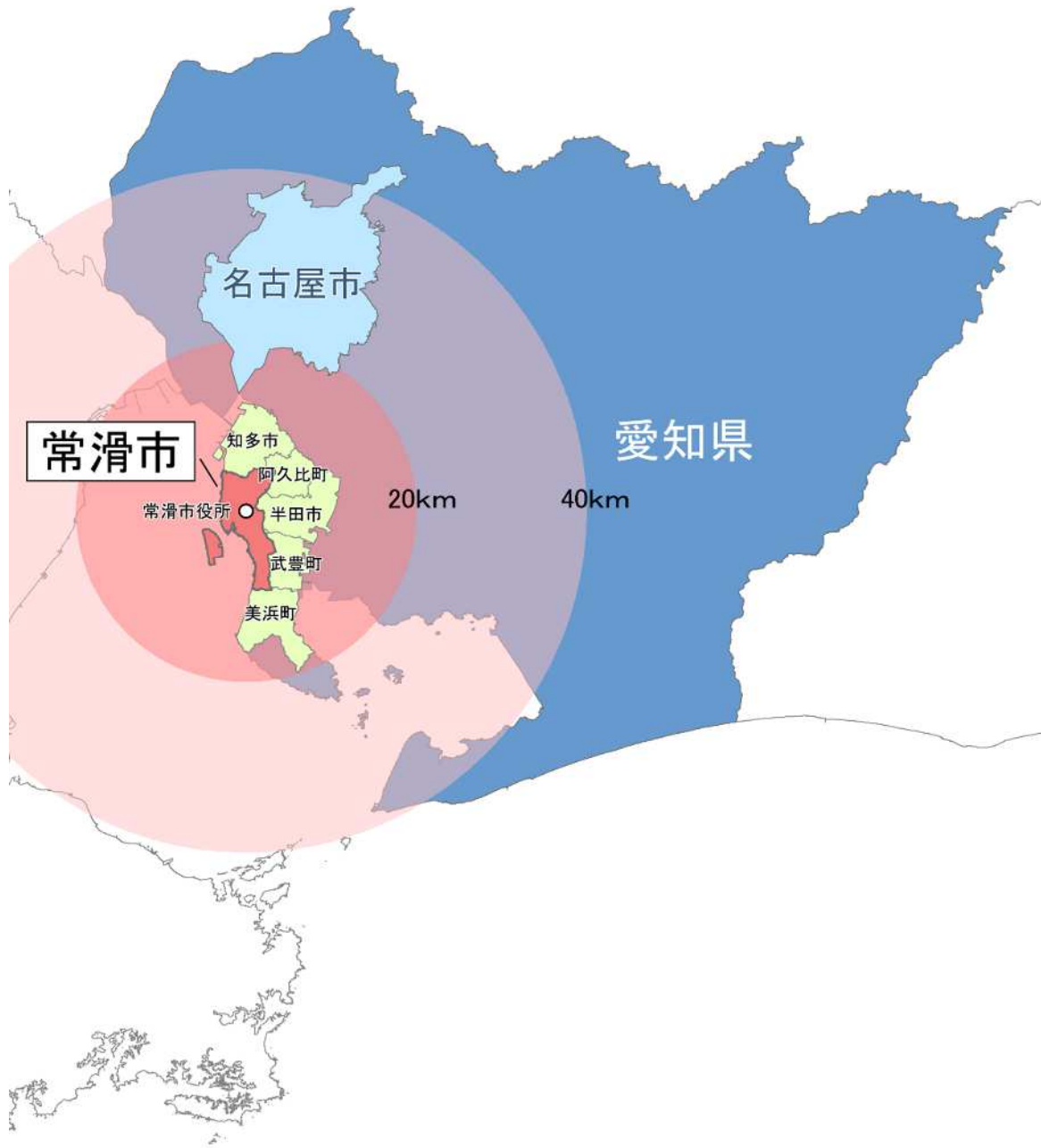
1 本市の現況	1
1-1 本市の位置・地形.....	1
1-2 人口.....	3
1-3 観光.....	8
1-4 施設の分布状況.....	9
1-5 市内の公共交通.....	13
1-6 交通行動.....	24
1-7 携帯位置情報による行動分析.....	33
1-8 アンケート調査について.....	35
1-9 その他.....	38

1 本市の現況

1-1 本市の位置・地形

(1) 位置、地形、面積等

本市は愛知県知多半島の西海岸に位置し、面積55.90km²、東西6km、南北15km、海岸線19.8kmの南北に細長い地形です。北は知多市、東は阿久比町・半田市・武豊町、南は美浜町と隣接しています。また、名古屋市の40km圏内に位置しています。



図：本市の位置

出典：国土数値情報

(2) 標高

本市は海に面している西部で標高の低い地域が広がっている一方、内陸部は丘陵になっており坂も多いです。特に東部の阿久比町・半田市・武豊町との境界付近は、比較的標高が高い地域が広がっています。



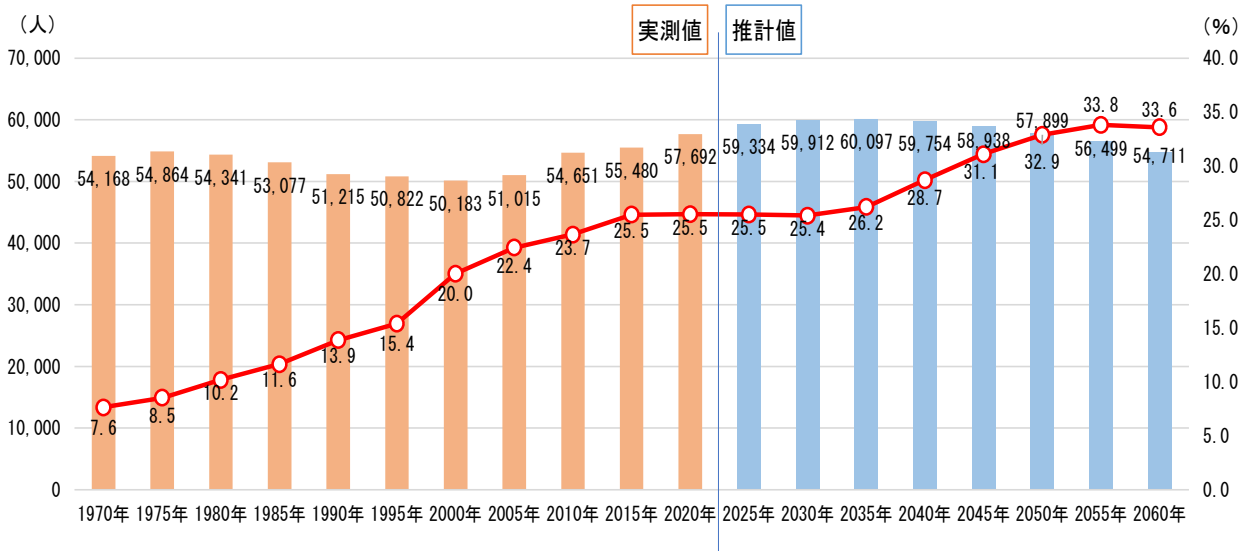
図：市内の地図

出典：国土地理院

1-2 人口

(1) 本市全体の人口と高齢化率の推移

本市の人口は2020年の時点で57,692人です。本市の将来推計では2035年頃に約60,000人でピークをむかえ、以降は減少する見込みです。高齢化率は2020年の時点では25.5%で、2055年には人口の3分の1以上が高齢者となります。

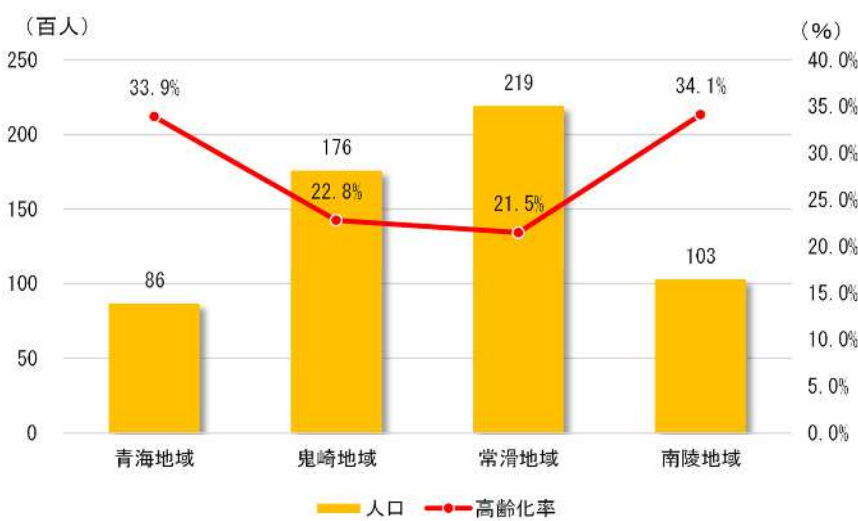


図：人口推移

出典：とこなめの統計H31年、常滑市HP、第2期常滑市まち・ひと・しごと創生総合戦略

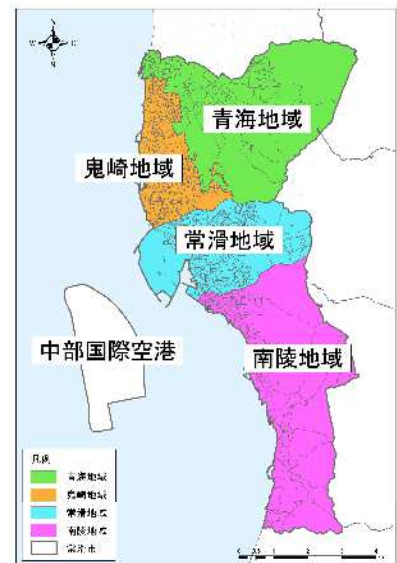
(2) 市内の地域別人口と高齢化率

地域別では、鬼崎地域と常滑地域の人口が多く、高齢化率が比較的人口の少ない青海地域と南陵地域で30%を超えています。



図：地区別高齢化率（2022年12月末時点）

出典：本市HP



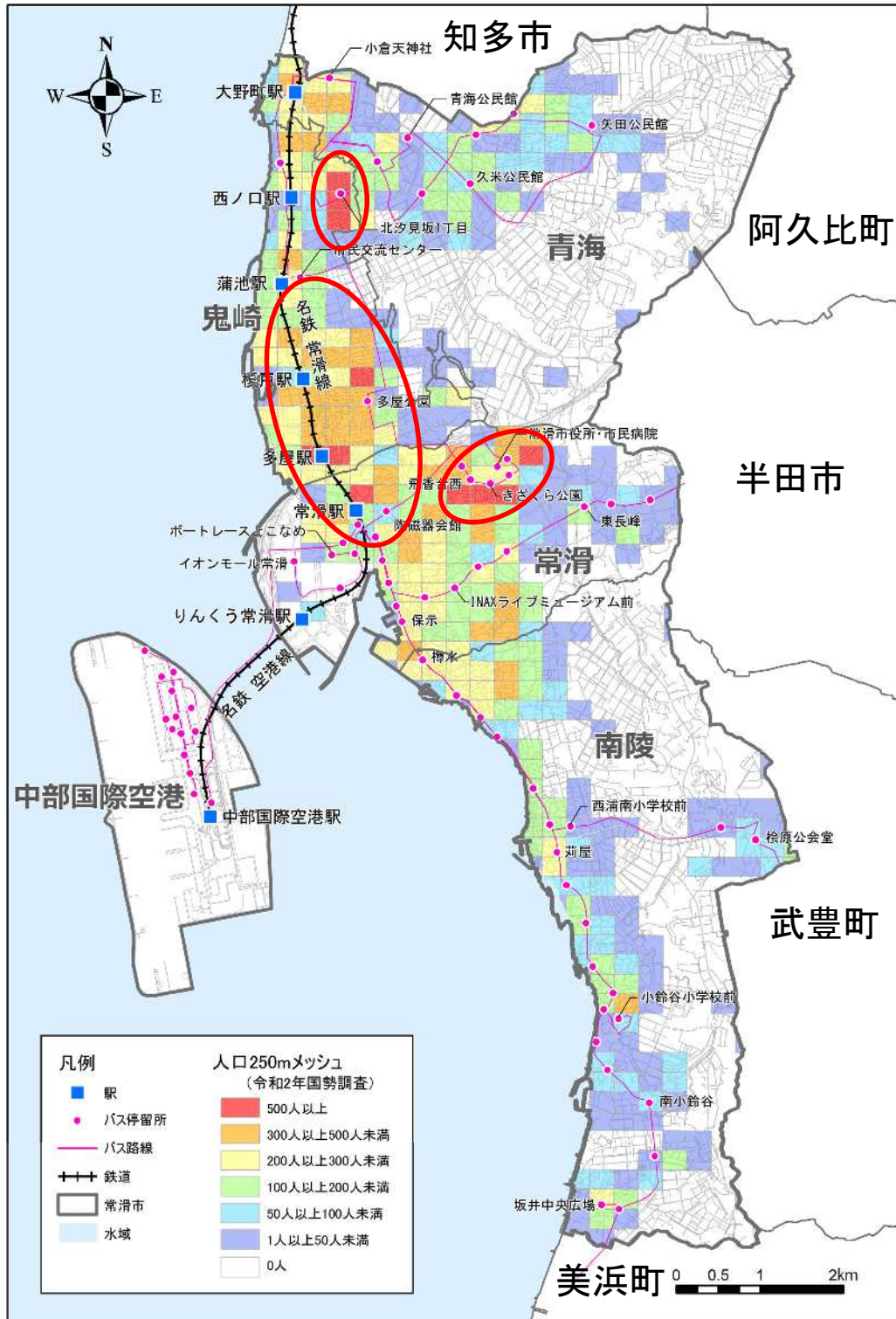
図：常滑市内の地域

出典：本市HP

(3) メッシュ人口

1) 総人口

本市の総人口における250mメッシュ人口は、常滑地域や鬼崎地域の一部に人口が集中している地域がみられます。

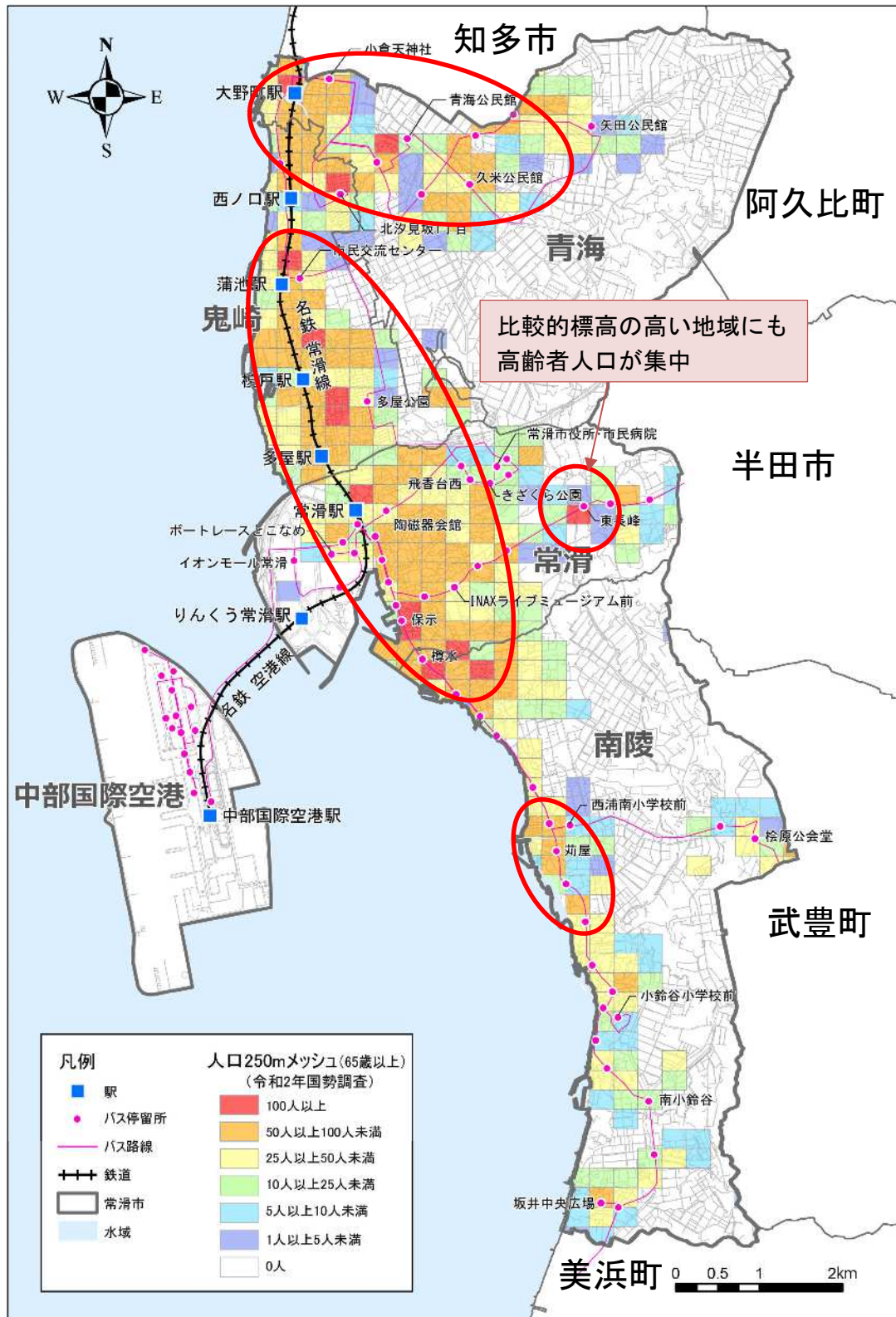


図：メッシュ人口（総人口）

出典：令和2年国勢調査

2) 高齢者人口

本市の高齢者人口における250mメッシュ人口は、人口が集中している鬼崎地域や常滑地域に加え、人口が比較的少ない青海地域や南陵地域でも高齢者人口が多い地域がみられます。



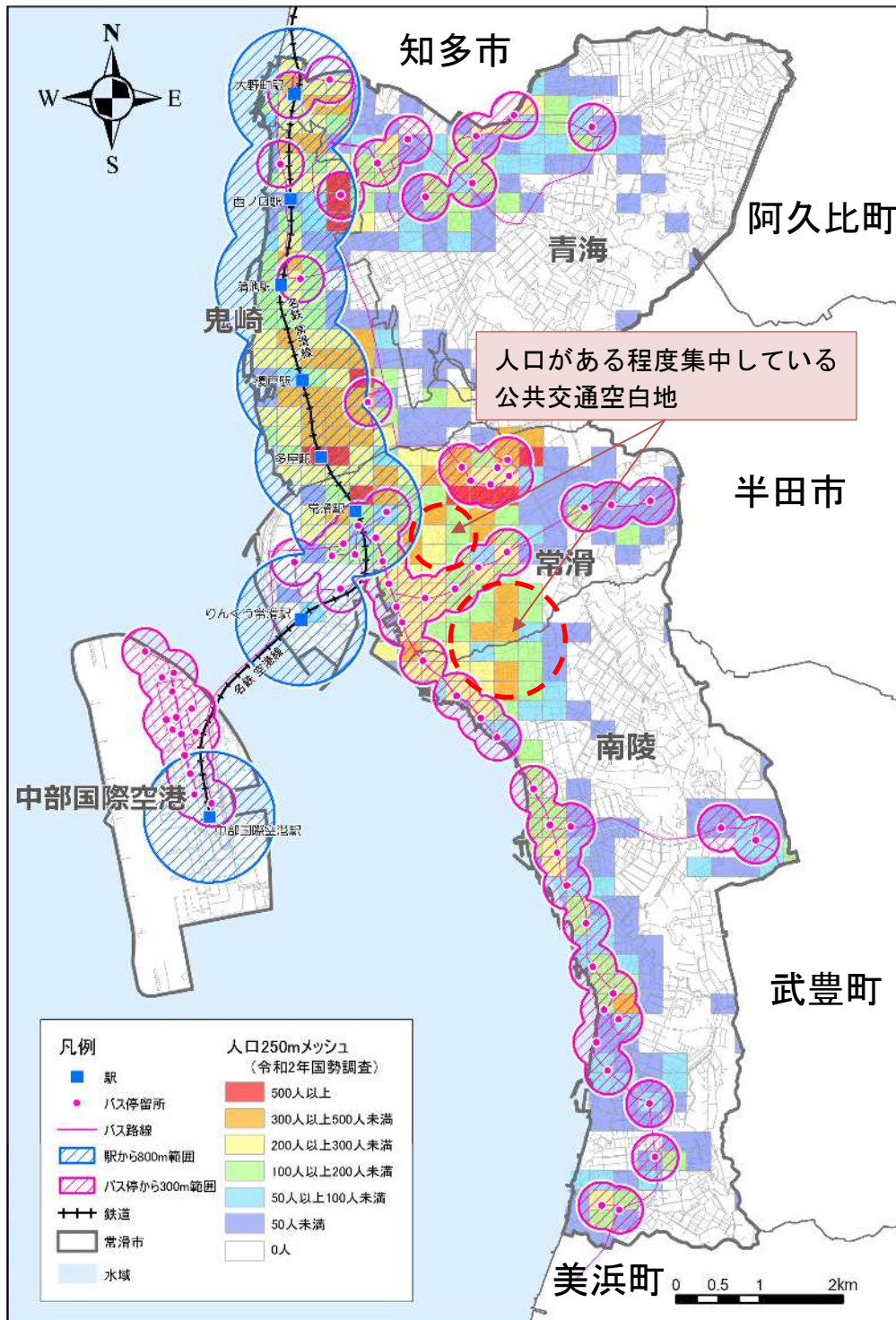
図：メッシュ人口（高齢者人口）

出典：令和2年国勢調査

(4) 公共交通空白地

1) 総人口

本市は西部を南北に、中心部を東西に公共交通（鉄道・バス）が通っているため、常滑地域の一部や、常滑地域と南陵地域の境界部に人口がある程度集中している公共交通空白地があります。



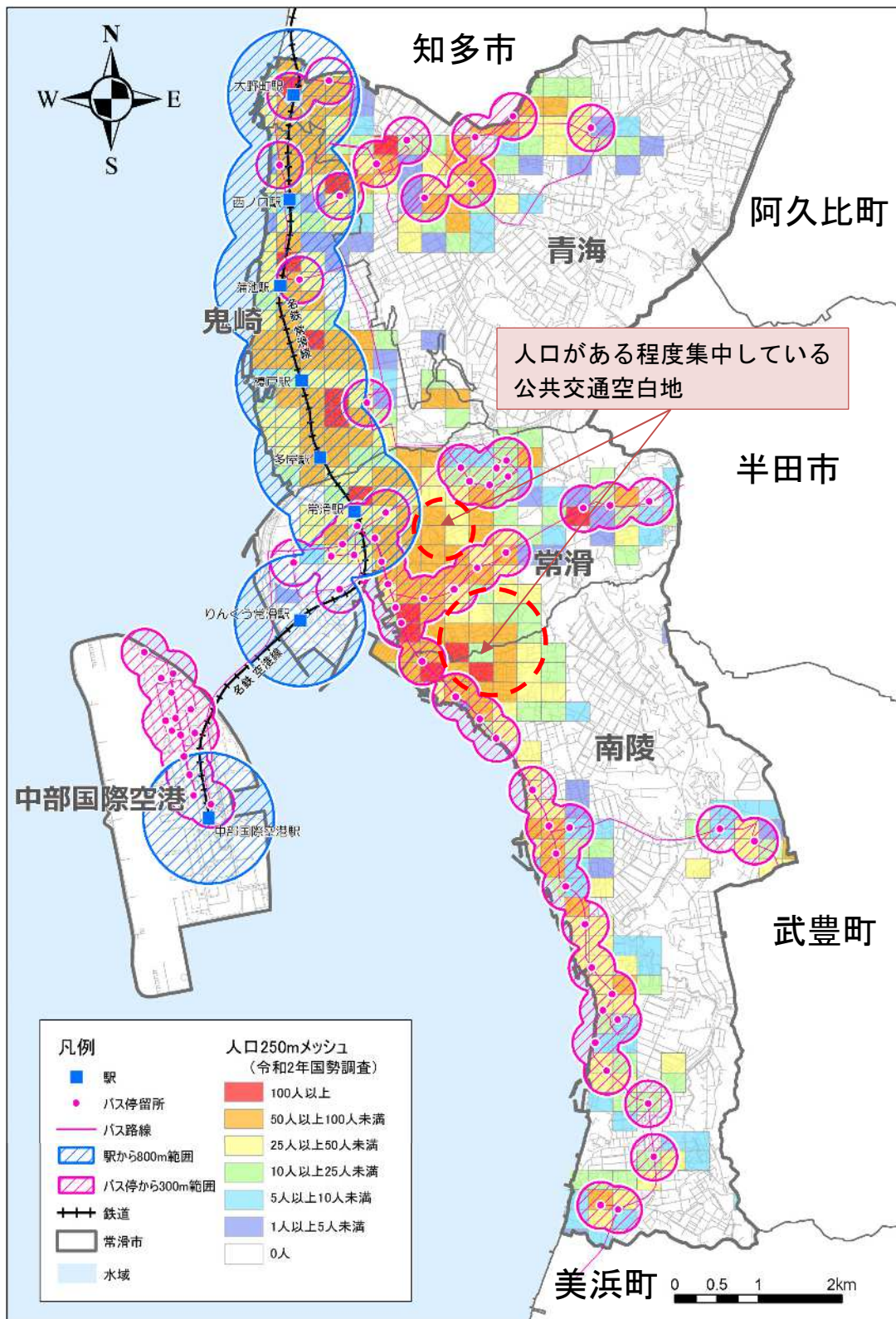
図：公共交通空白地（総人口）

出典：令和2年国勢調査

※公共交通空白地：鉄道駅については半径800m、バス停については半径300mを徒歩圏内とし、徒歩圏内にバスの停留所や鉄道駅、海港及び空港がない集落(国土交通省(2014)「都市構造の評価に関するハンドブック」)

2) 高齢者人口

総人口と同様、市内西部から東部にかけて公共交通空白地の分布が多くなっており、特に常滑地域と南陵地域の境界部に高齢者人口が集中している公共交通空白地があります。

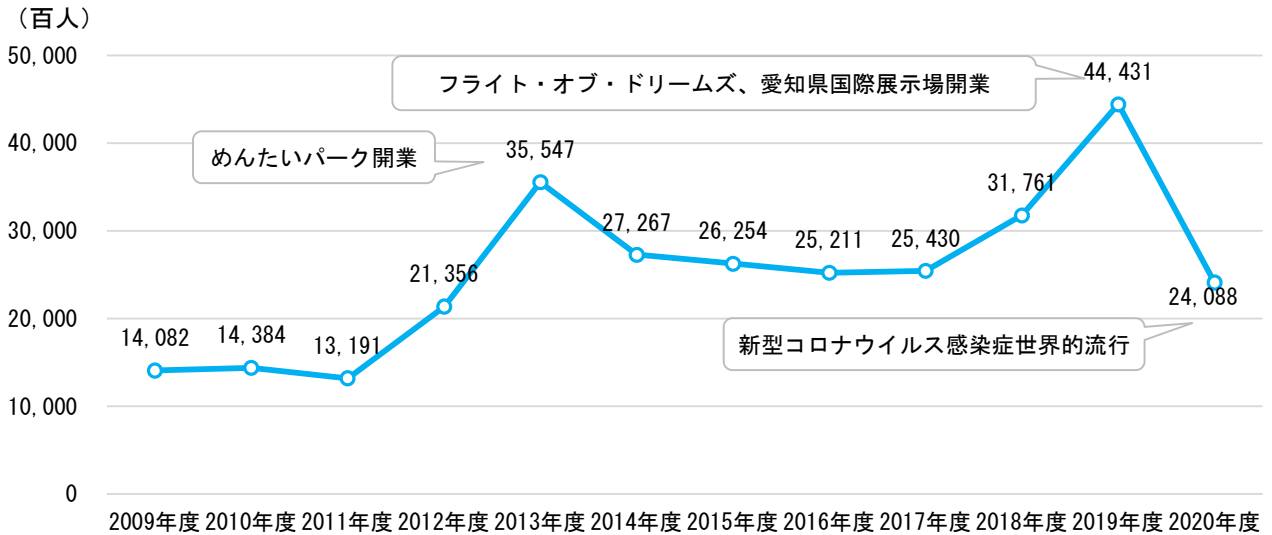


図：公共交通空白地（65歳以上）

出典：令和2年国勢調査

1-3 観光

本市の観光入込客数は、2019年（令和元年）には中部国際空港に隣接する複合商業施設「フライト・オブ・ドリームズ」や「愛知県国際展示場」の開業もあり、約444万人に達しています。一方で、2020年（令和2年）は新型コロナウイルス感染症の世界的流行の影響により、大幅に減少しています。



図：観光入込客数の推移

資料：常滑市（2022）「常滑市観光戦略プラン2022」

1-4 施設の分布状況

(1) 医療施設

常滑地域や鬼崎地域は多くの施設が分布していますが、青海地域と南陵地域は少なく、特に南陵地域は当該地域の北部に1つあるのみです。



図：本市と周辺市町的主要医療施設の分布状況

出典：市資料

(2) 商業施設

医療施設と同様に、常滑地域や鬼崎地域は多くの施設が分布していますが、青海地域と南陵地域は少なく、特に南陵地域は当該地域の北部に1つあるのみです。



図：本市と周辺市町的主要商業施設の分布状況

出典：常滑市都市計画マスタープラン、市資料

(3) 公共施設

公共施設について、市役所は常滑地域にあり、公民館や市民ホール等の文化施設は各地域に分布しています。

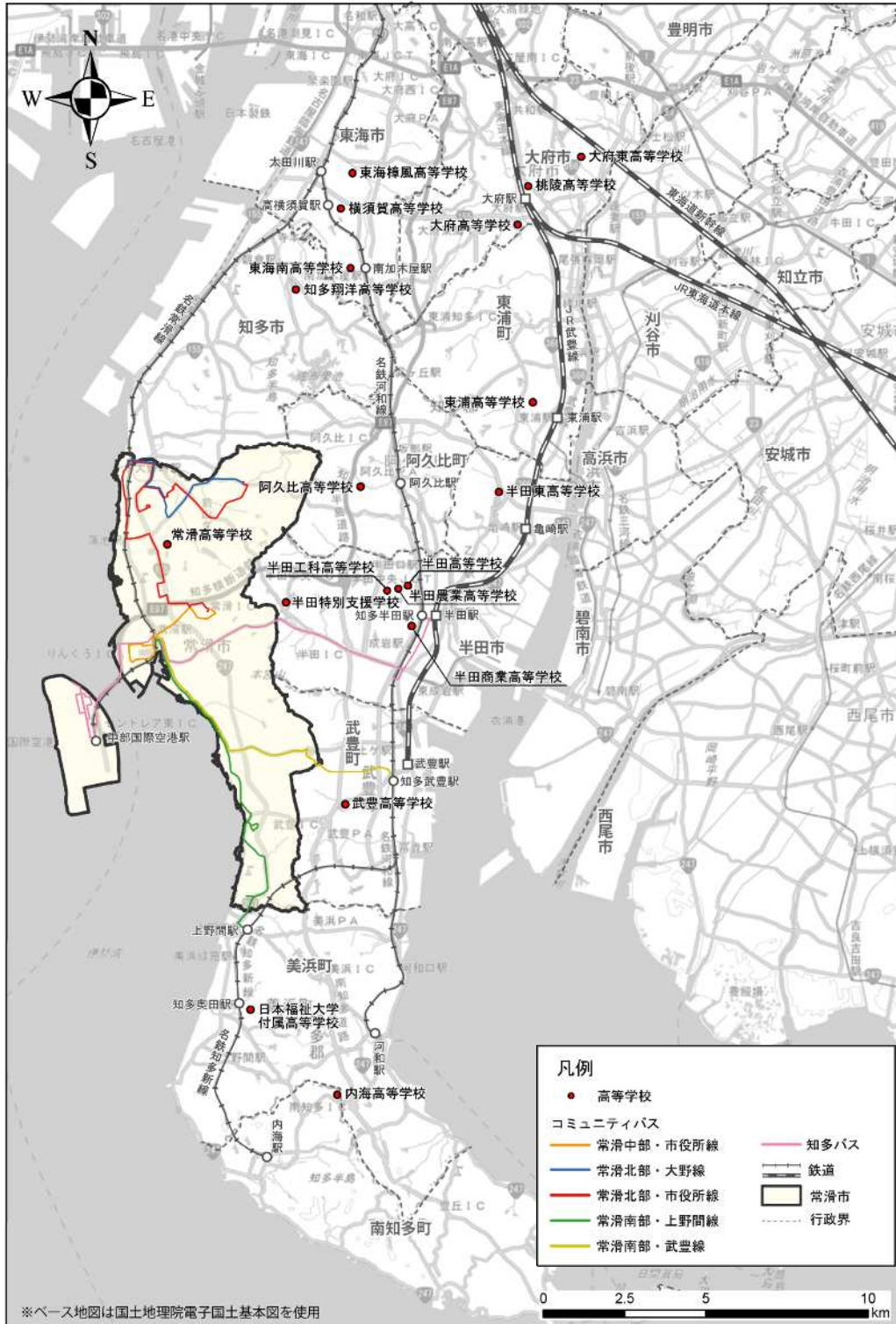


図：公共施設の分布状況

出典：市資料

(4) 知多地域の高等学校

本市には高等学校として「常滑高等学校」が1校あります。本市を含めて、知多地域（常滑市、大府市、東海市、知多市、東浦町、阿久比町、半田市、武豊町、美浜町、南知多町）には高等学校が18校あります。



図：知多地域の高校の位置

資料：各市町HP

1-5 市内の公共交通

(1) 鉄道

1) ネットワークと運行状況

市内には名鉄常滑線と名鉄空港線が通っており、計8駅あります。

日中の1時間あたりの運行状況は、中部国際空港駅が8本、常滑駅が6本、大野町駅とりんくう常滑駅が4本、その他4駅が2本となっています。



図：常滑市の鉄道ネットワーク

出典：名鉄HP

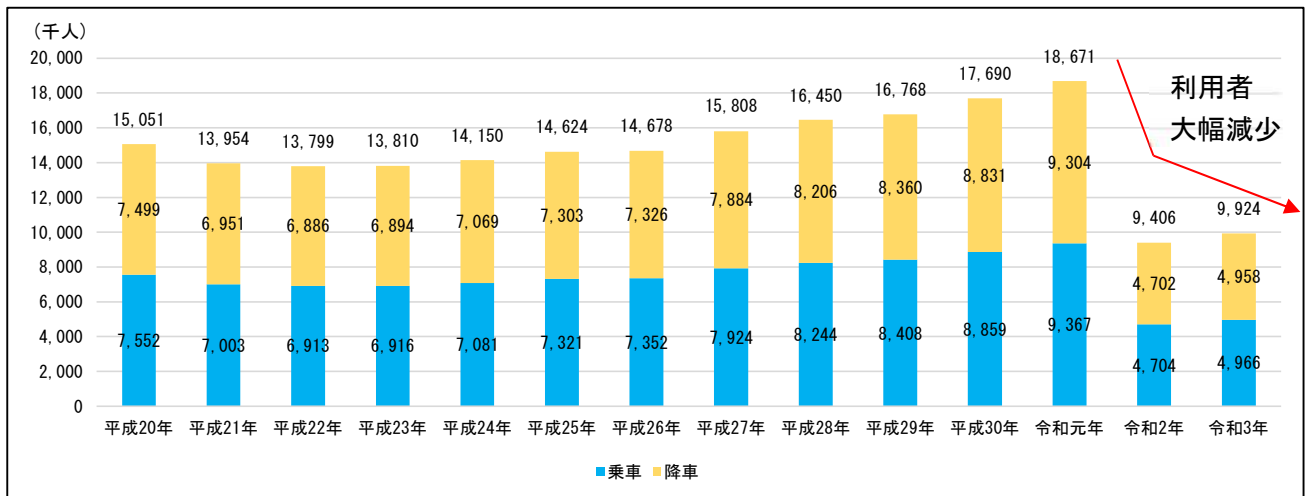
表：主要駅の運行状況（日中）

駅名	停車する種別	1時間あたりの停車本数
中部国際空港駅	ミュースカイ、特急、準急、普通	8本
常滑駅	特急、準急、普通	6本
大野町、りんくう常滑駅	準急、普通	4本
西ノ口駅、榎戸駅、蒲池駅、多屋駅	普通	2本

出典：名鉄HP

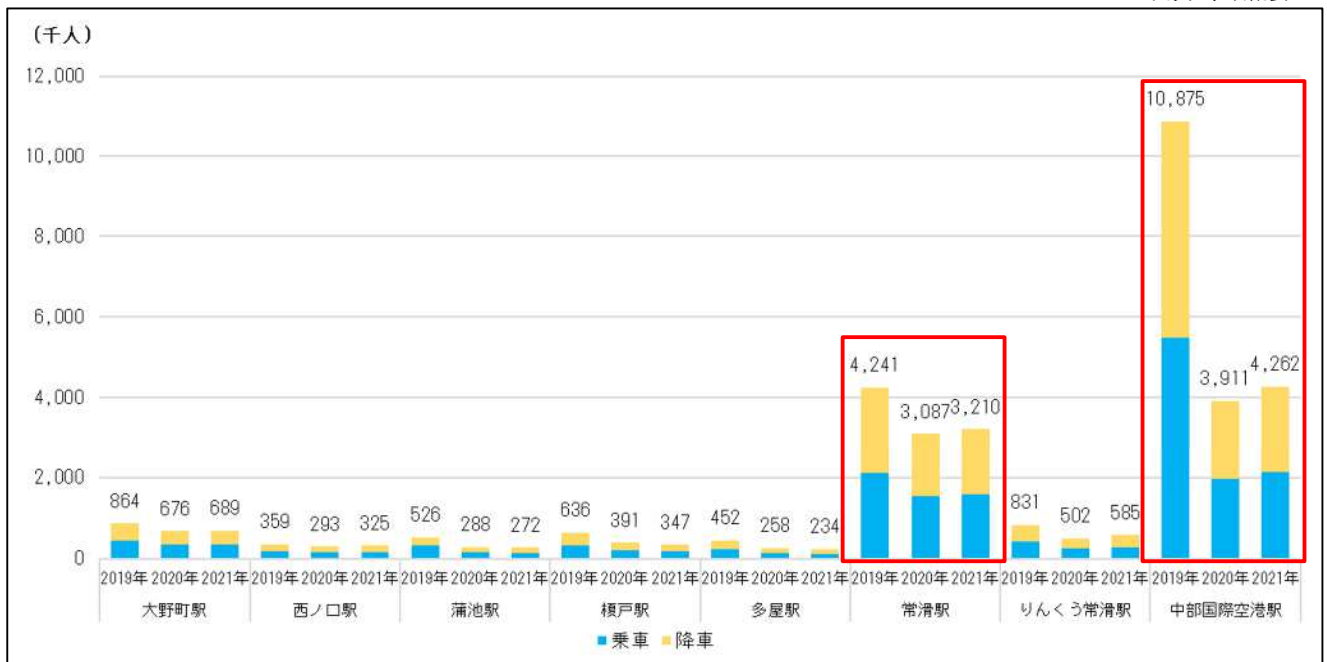
2) 鉄道の利用実績

利用実績については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で2019年度（令和元年度）から2020年度（令和2年度）にかけて大きく減少しています。また、駅別の乗降客数は、1時間あたりの運行本数の多く、広域圏からの利用がみられる中部国際空港駅と常滑駅が多くなっています。



図：鉄道利用者数の推移

出典：市政概要



図：駅別乗降客数の推移

出典：市政概要

(2) バス（路線バス・コミュニティバスグループ）

1) ネットワークと運行状況

市内には路線バス（知多バス）とコミュニティバスグループが運行しています。

知多バスについて、市内には常滑駅・中部国際空港駅と知多半田駅を結ぶ半田・常滑線と空港貨物地区循環線が通っています。

また、コミュニティバスグループについて、2022年（令和4年）の10月から、市内を運行するコミュニティバスとして、運賃無料で運行しています。市内には6路線通っており、常滑中部・市役所線とポートレースとこなめ周遊線の運行便数が多くなっています。



図：本市のバス路線図

資料：市HP

表：路線バス運行本数（令和5年3月18日改正後）

路線名	ルート	平日	休日
半田・常滑線	知多半田駅⇒常滑駅	16便	14便
	常滑駅⇒知多半田駅	15便	12便
	常滑駅⇔中部国際空港	4便	4便
空港貨物地区循環線	旅客ターミナルビル⇒総合物流北⇒旅客ターミナルビル	19便	6便

資料：知多バスHP

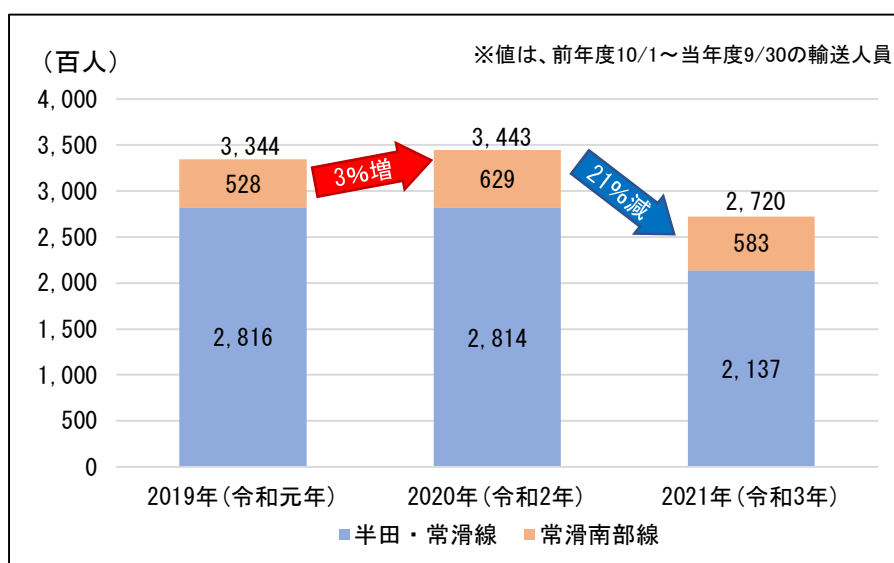
表：コミュニティバス（グリーン）の概要

エリア	路線	ルート	運行本数		
			往路	復路	計
北部エリア	常滑北部・市役所線	矢田地区と市役所・市民病院を繋ぐ	7便	6便	13便
	常滑北部・大野線	矢田地区と大野町駅を朝と夜運行	2便	2便	4便
市街地エリア	常滑中部・市役所線	常滑駅と市役所・市民病院を繋ぐ	26便	24便	50便
	ポートレースとこなめ周遊線	常滑駅→ポートレースとこなめ→イオンモール常滑等りんくう町を周遊	19便	-	19便
南部エリア	常滑南部・上野間線	常滑駅と上野間駅を繋ぐ	9便	8便	17便
	常滑南部・武豊線	常滑駅と知多武豊駅を繋ぐ	8便	7便	15便

出典：市提供資料

2) 路線バス（知多バス）の利用実績

利用実績については、鉄道と同様に新型コロナウイルス感染症拡大の影響で利用者が減少しています。



図：知多バス利用者数の推移

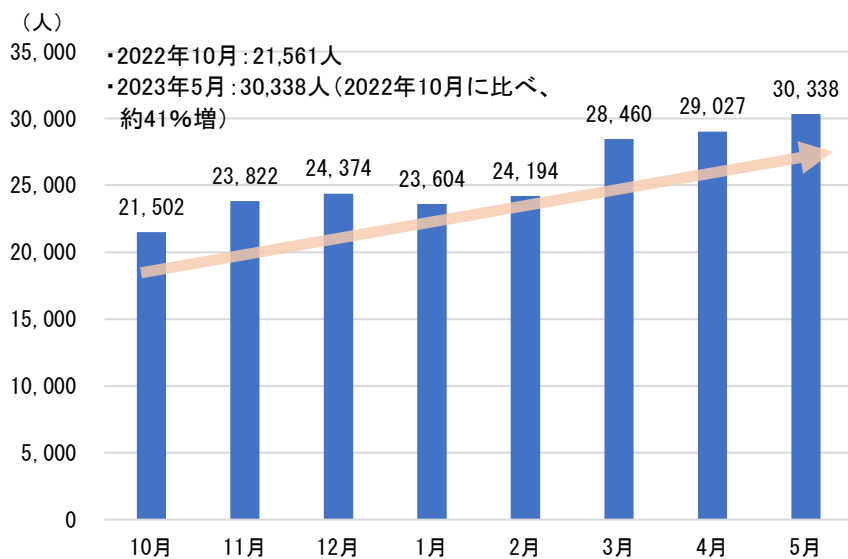
出典：市提供資料

3) グルーンの利用実績

利用実績については、2022年（令和4年）10月から2023年（令和5年）5月にかけて、右肩上がりの傾向にあり、乗車数は常滑中部・市役所線が最大で常滑北部・大野線が最少となっています。また、1便あたりの乗車数は常滑南部・上野間線やポートレースとこなめ周遊線が多い傾向にあり、常滑北部・大野線が少ない傾向にあります。

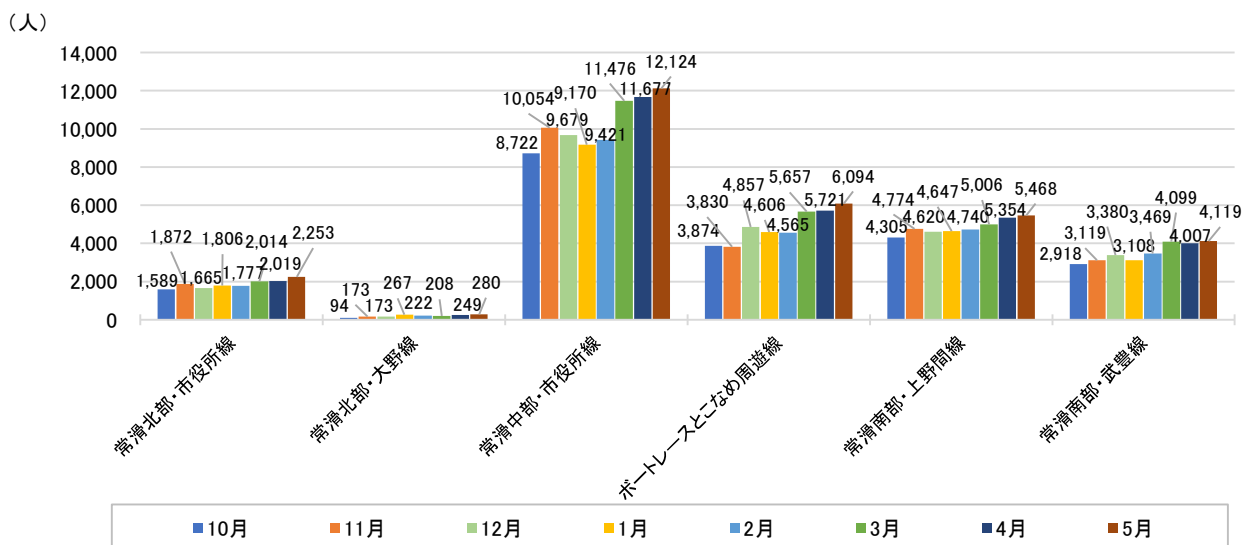
便別にみると、平日朝に常滑駅に向かう便、夕方以降に常滑駅を出る便で利用が多く、通勤・通学の利用者が多いことがうかがえます。

エリア別にみると、北部エリアは午前の一部を除き、利用が少なく、特に北部・大野線の夜便は利用者が極端に少ないです。中部エリアは、中部・市役所線は平日の利用が多く、休日は利用が少ない一方で、ポートレースとこなめ周遊線は休日の利用が多くなっています。また、南部エリアは、平日・休日によらず利用が多くなっています。



図：月別の利用実績（2022年10月～2023年5月）

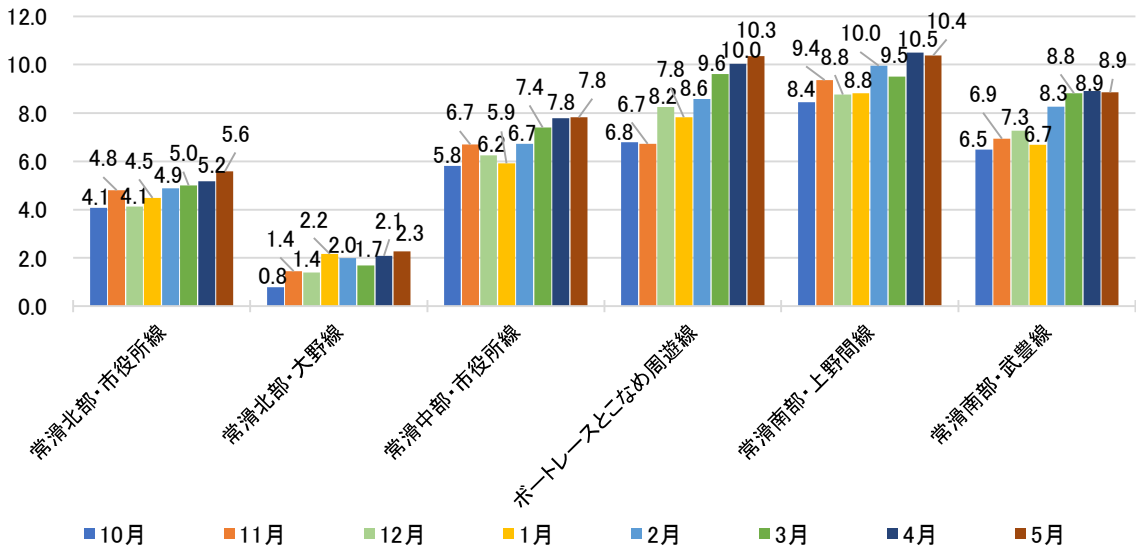
出典：乗降システム (MANALYZE)



図：路線別・月別の利用実績（2022年10月～2023年5月）

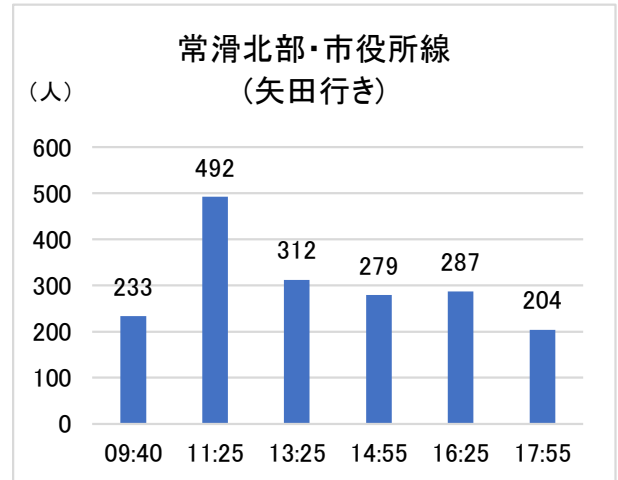
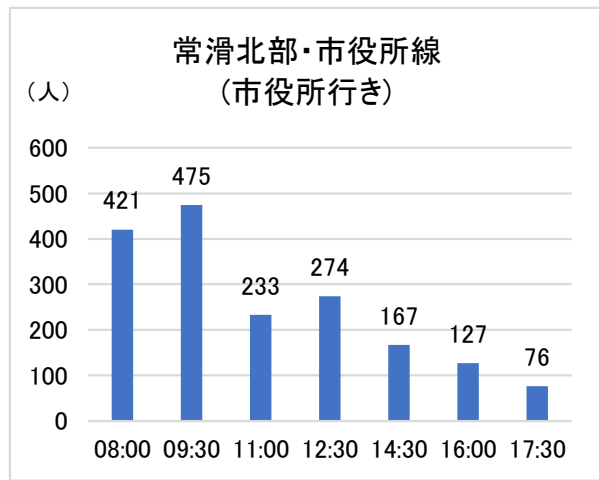
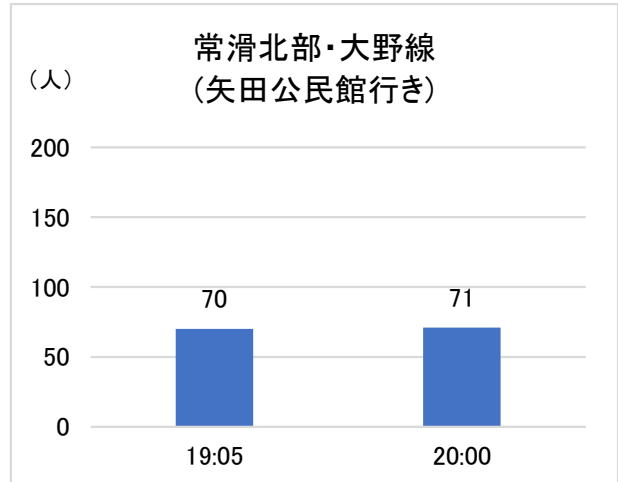
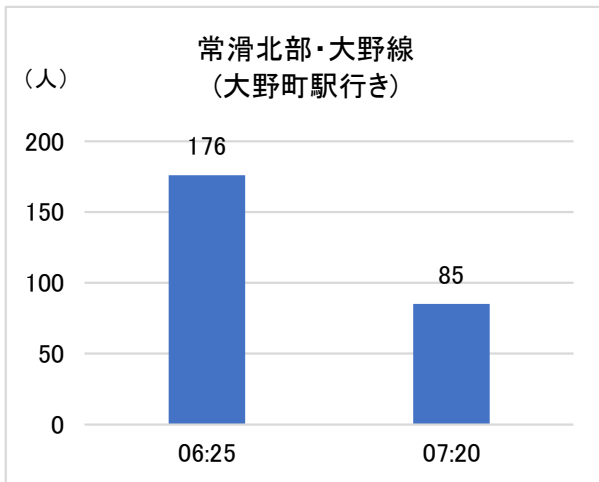
出典：乗降システム (MANALYZE)

(人/便)



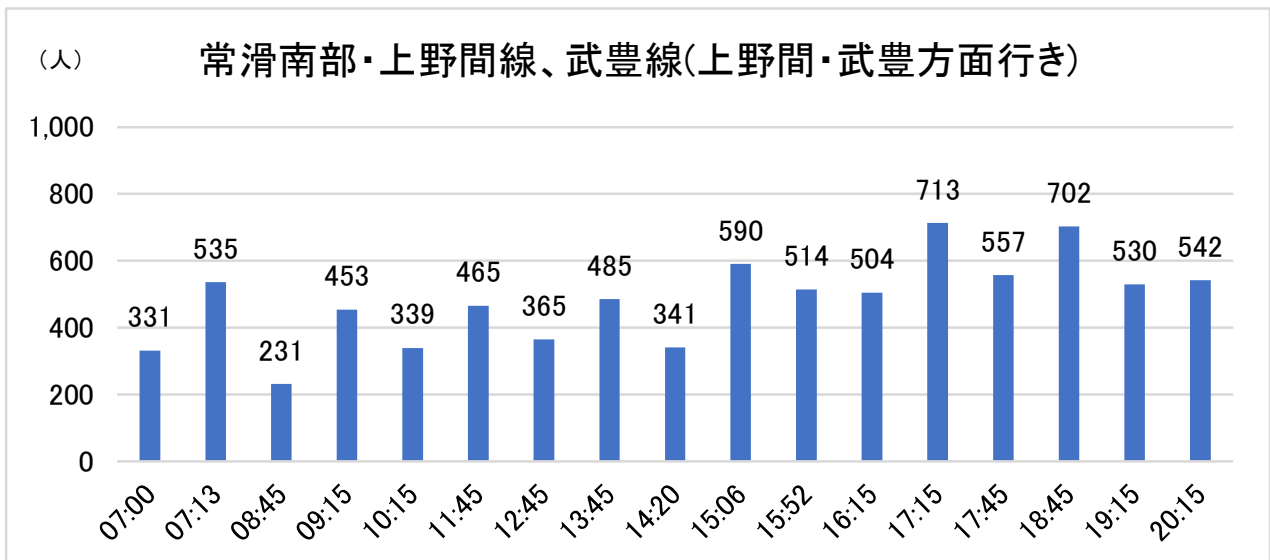
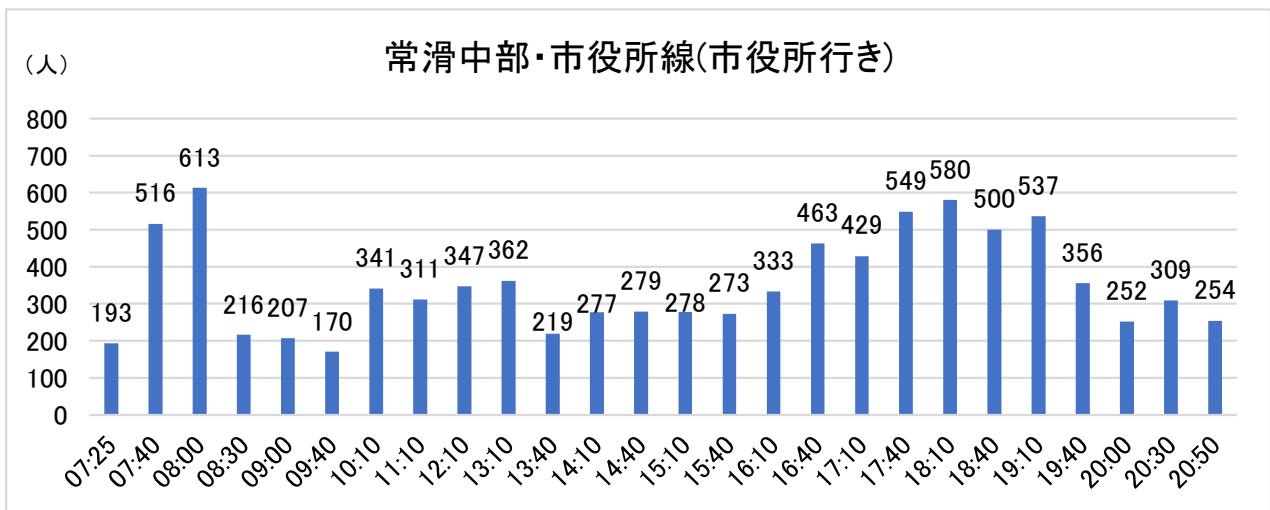
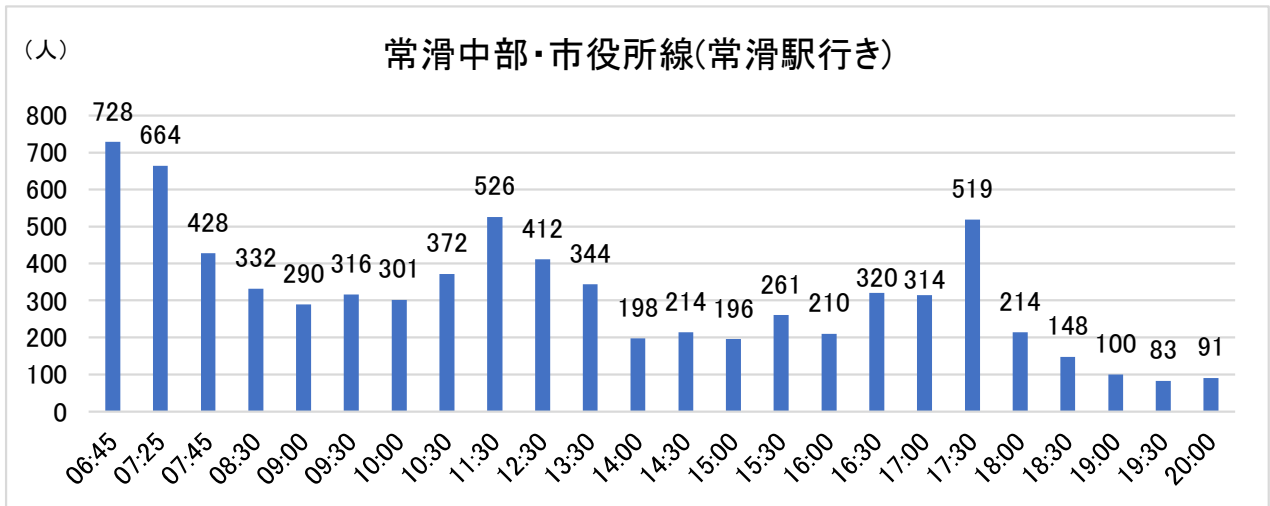
図：路線別・月別の1便あたりの利用実績（2022年10月～2023年5月）

出典：乗降システム(MANALYZE)



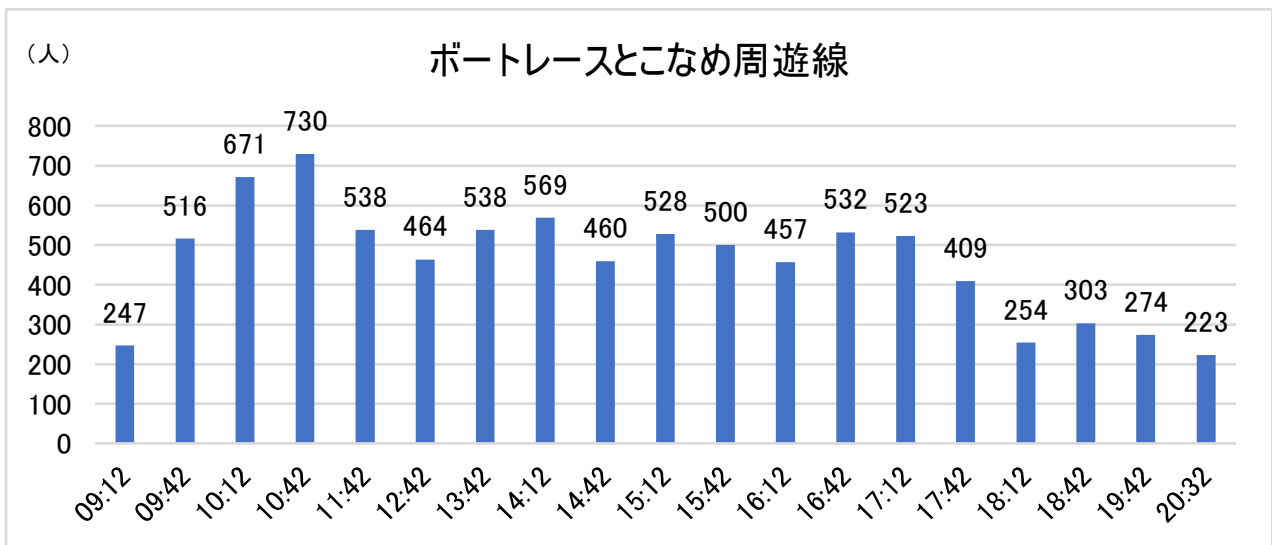
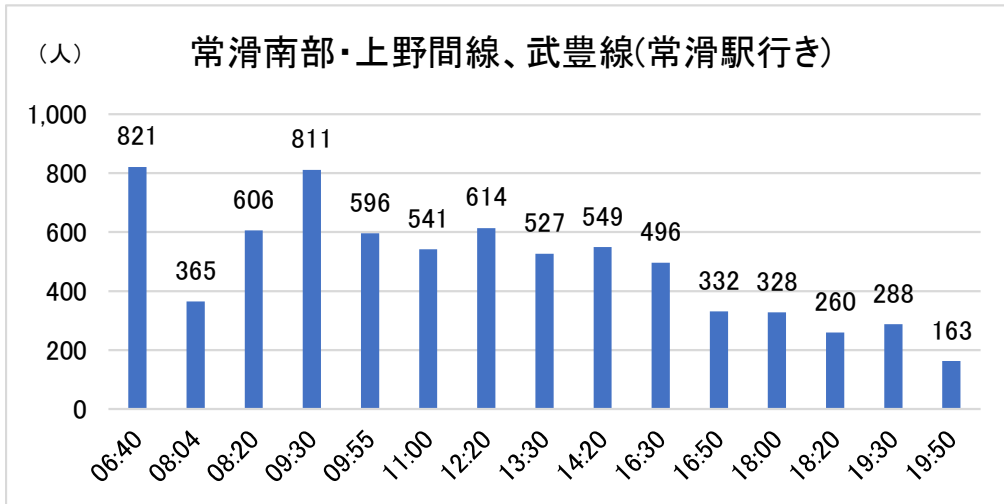
図：路線別・便別の利用者数（1/3）

出典：乗降システム(MANALYZE)



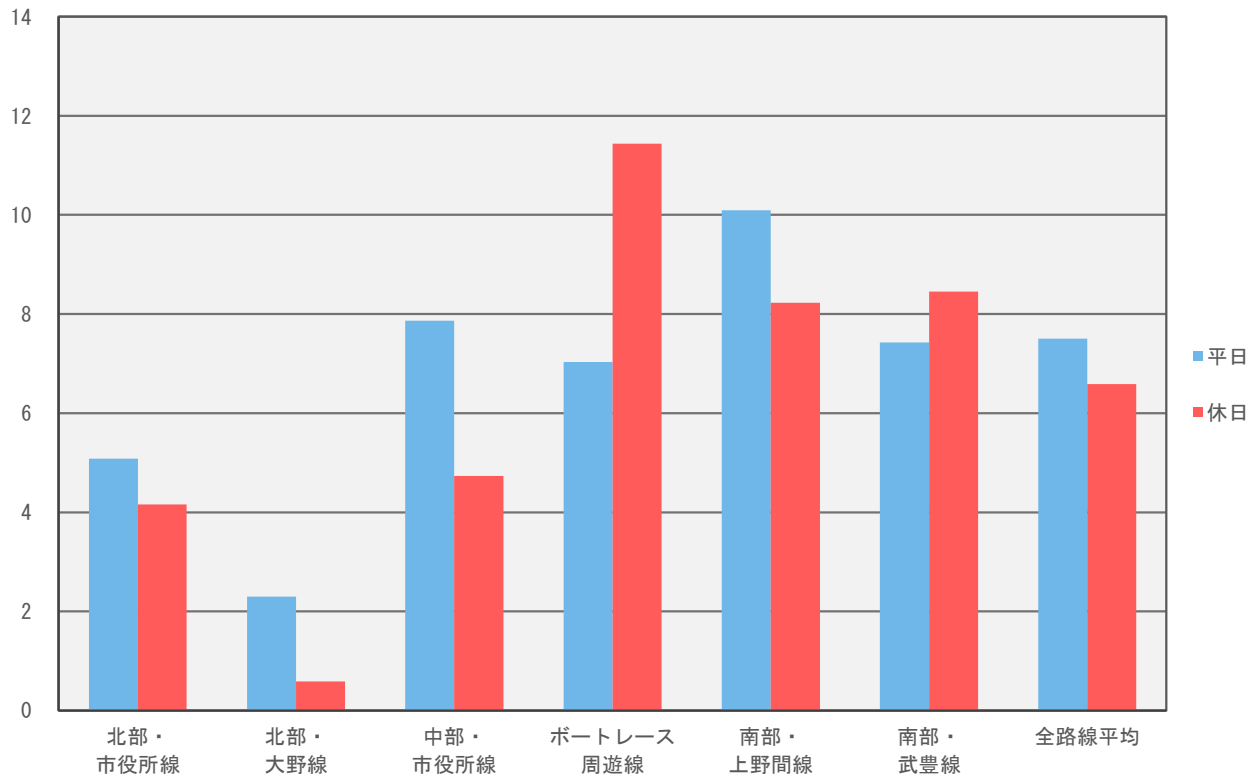
図：路線別・便別の利用者数 (2/3)

出典：乗降システム (MANALYZE)



図：路線別・便別の利用者数 (3/3)

出典：乗降システム(MANALYZE)



図：平日・休日ごとの1便あたりの利用者数

(3) タクシー

市内には主な事業者として、名鉄知多タクシー（株）とサンレー交通（株）が運行しています。



図：常滑市タクシー事業者

出典：常滑市HP

(4) その他の公共交通

市内には特定の地域や区間を運行する公共交通として、CHITA CATプロジェクト シャトルバスと青海地区ボランティア輸送、社会福祉協議会の移動支援があります。各公共交通の概要は以下のとおりです。

表：その他の公共交通機関の概要

種別	概要
CHITA CATプロジェクト シャトルバス	<ul style="list-style-type: none">・イオンモール常滑と中部国際空港の間を結ぶシャトルバス・コロナ禍の影響で特にインバウンドの利用が大きく減少し、現在は毎週日曜日のみの運行
青海地区ボランティア輸送	<ul style="list-style-type: none">・市北部にある青海団地は丘の上にあり、勾配が多い住宅地・住民の高齢化が進み、買い物や病院への往来に苦勞する人が増加 ⇒地域のボランティア団体が乗用車を運行し、定時定路線型のボランティア輸送を実施・火・木・土曜日に1日3便の運行
社会福祉協議会の移動支援	<ul style="list-style-type: none">・バスが運行していない多屋団地の住民を対象に、タクシーでスーパーや病院、最寄りのバス停までの移動を支援している。・現在は週3日運行している。

1-6 交通行動

(1) 移動手段

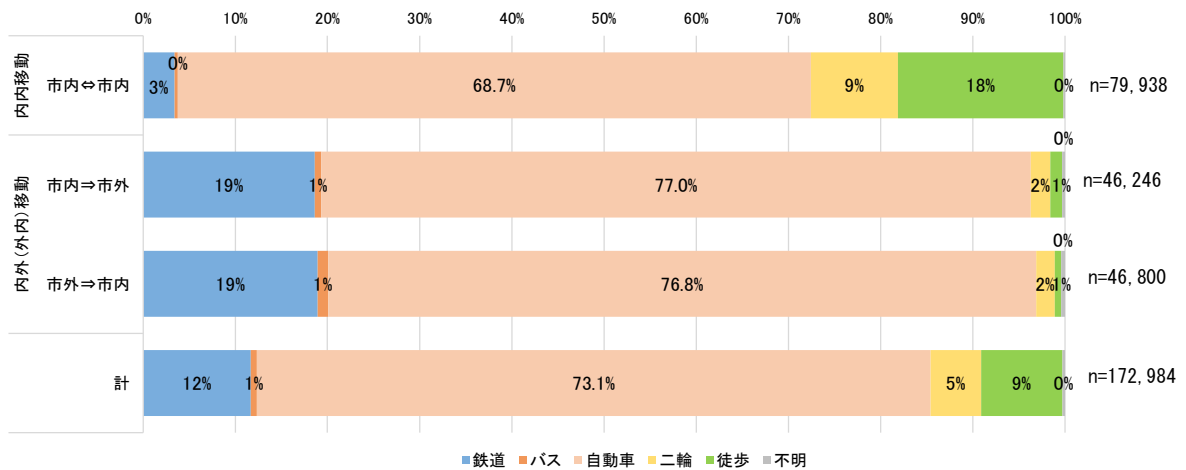
平日の移動手段は、市内での移動ではバス移動はなく、鉄道利用が3%となっています。市内外の移動では約20%が鉄道・バスの公共交通機関を利用しています。

表：平日の移動手段

(件)

		鉄道	バス	自動車	二輪	徒歩	不明	計
内内移動	市内⇄市内	2,727	290	54,882	7,542	14,338	159	79,938
	市内⇒市外	8,601	335	35,591	971	607	141	46,246
内外 (外内) 移動	市外⇒市内	8,854	530	35,949	933	335	199	46,800
	計	20,182	1,155	126,422	9,446	15,280	499	172,984

資料：第5回中京都市圏パーソントリップ調査(平成23年)



図：平日の移動手段

資料：第5回中京都市圏パーソントリップ調査(平成23年)

(2) 移動目的

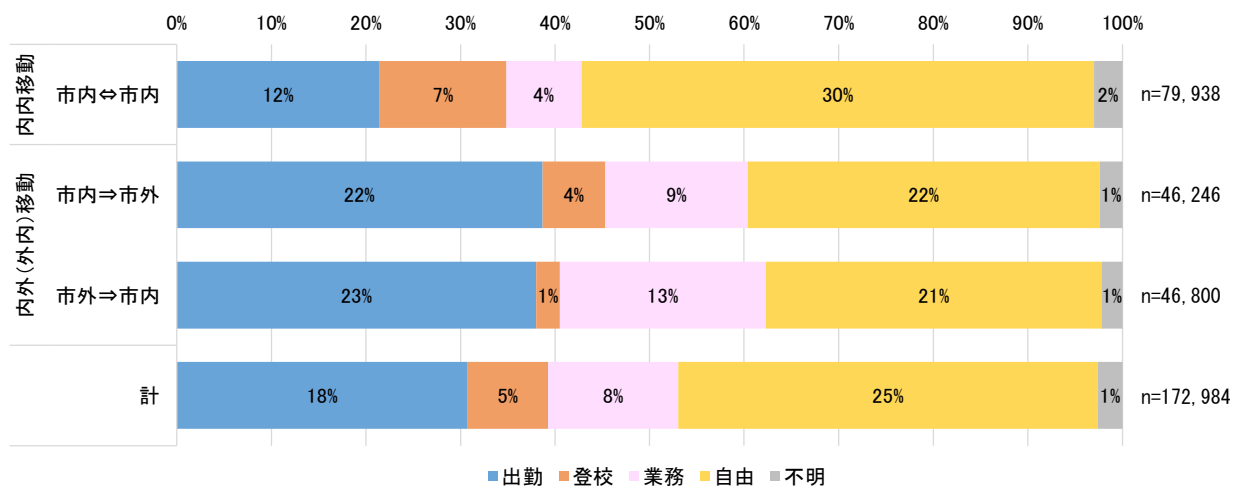
移動目的は全体では25%が「自由」、次いで18%が「出勤」となっています。また、内内移動に比べて内外（外内）移動では、「出勤」や「業務」目的の占める割合が多くなっています。

表：平日の移動目的

(件)

		出勤	登校	業務	自由	帰宅	不明	計
内内移動	市内⇔市内	9,549	5,965	3,543	24,124	35,427	1,330	79,938
	市内⇒市外	10,334	1,787	4,017	9,957	19,513	638	46,246
内外 (外内) 移動	市外⇒市内	10,637	688	6,104	9,928	18,829	614	46,800
	計	30,520	8,440	13,664	44,009	73,769	2,582	172,984

資料：第5回中京都市圏パーソントリップ調査(平成23年)



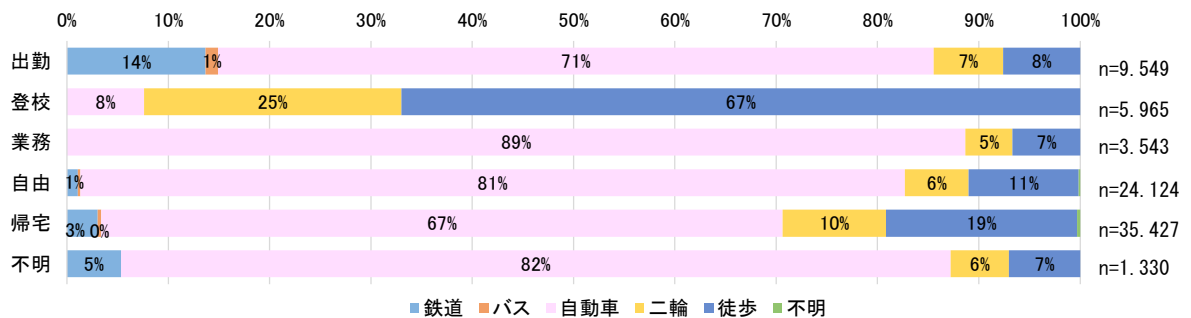
図：平日の移動目的

資料：第5回中京都市圏パーソントリップ調査(平成23年)

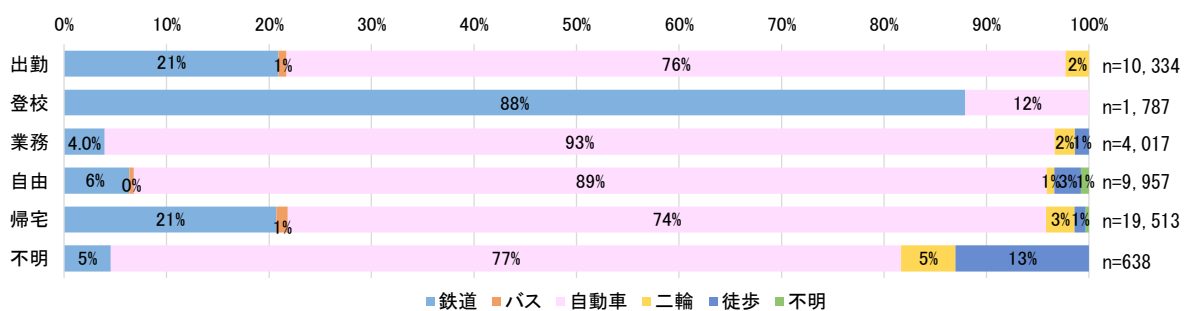
(3) 目的別手段

市内、市内→市外、市外→市内のいずれも、出勤手段の約7割が自動車となっています。また、出勤で公共交通を利用する割合は、市内で15%、市内→市外で22%、市外→市内で31%となっています。登校は市内→市外の88%が鉄道ですが、市外→市内になると二輪が51%を占めています。登校は市内→市外の88%が鉄道ですが、市外→市内になると二輪が51%を占めています。

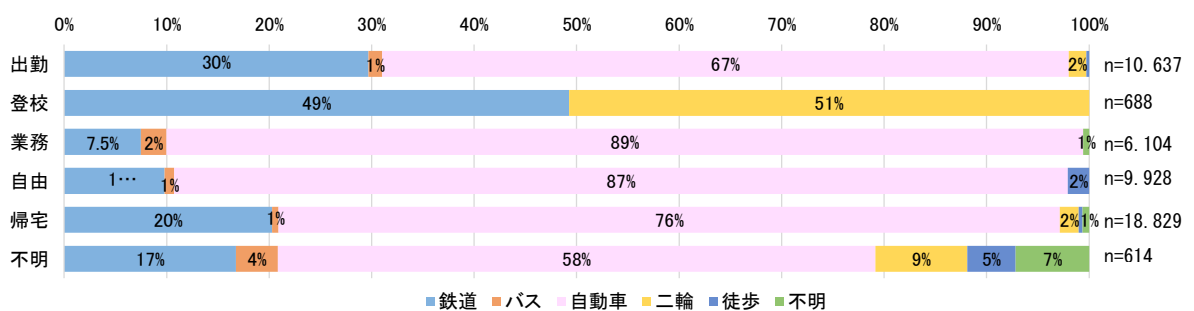
【常滑市内】



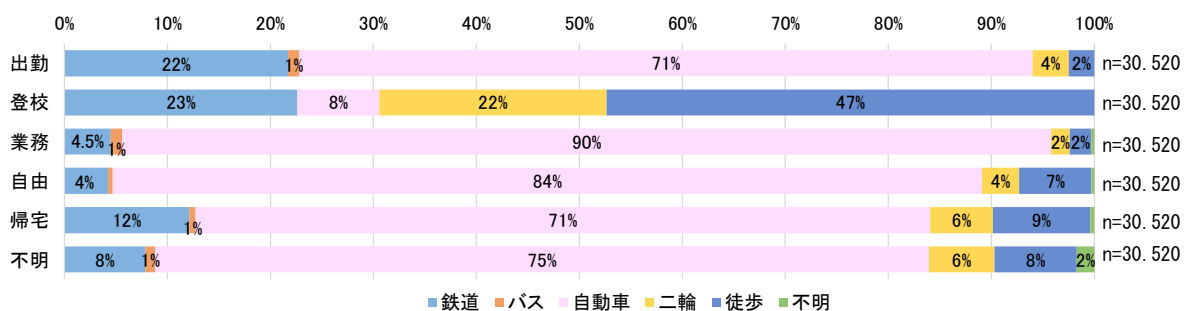
【常滑市内→常滑市外】



【常滑市外→常滑市内】



【全トリップ】

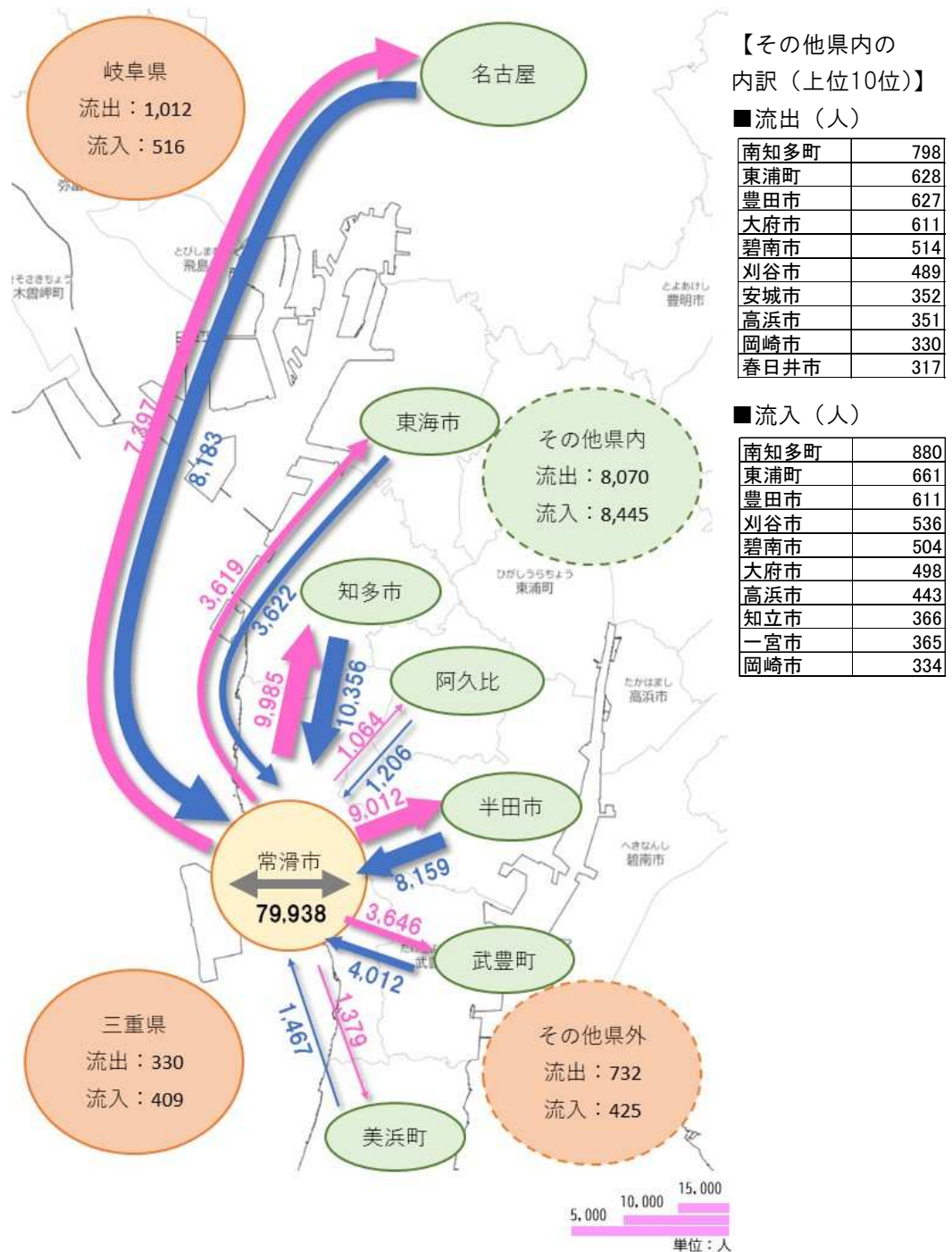


図：平日の目的別移動手段の割合

出典：第5回中京都市圏パーソントリップ調査(2011年)

(4) 都市間の移動量

流入元は知多市が最も多く、次いで名古屋市、半田市となっています。また、流出先は知多市が最も多く、次いで半田市、名古屋市となっています。県外への移動は、県内移動に比べて極めて少ないことがわかります。その他県内の上位3位は流出・流入ともに南知多町、東浦町、豊田市となっています。

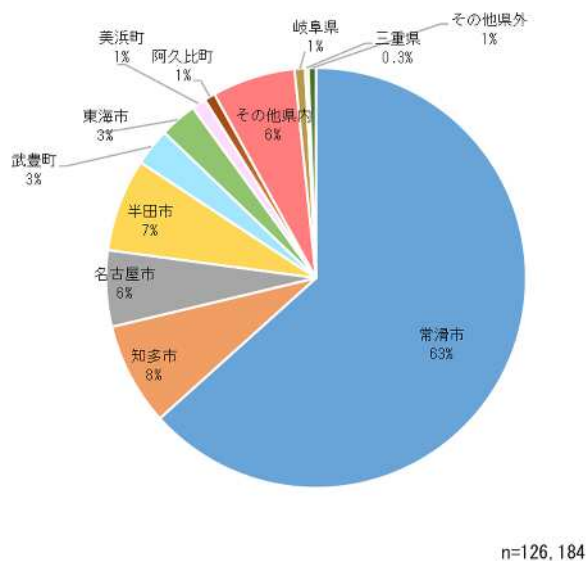


図：都市間の移動量

資料：第5回中京都市圏パーソントリップ調査(2011年)

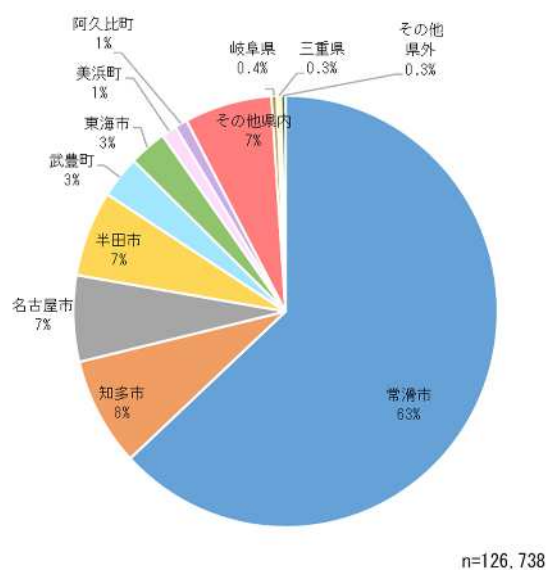
【発生交通量】

		トリップ数	
内内	常滑市	79,938	
内外	愛知県	知多市	9,985
		名古屋市	7,397
		半田市	9,012
		武豊町	3,646
		東海市	3,619
		美浜町	1,379
		阿久比町	1,064
		その他県内	8,070
	計	44,172	
		岐阜県	1,012
	三重県	330	
	その他県外	732	
内外計		46,246	
合計		126,184	



【集中交通量】

		トリップ数	
内内	常滑市	79,938	
外内	愛知県	知多市	10,356
		名古屋市	8,183
		半田市	8,159
		武豊町	4,012
		東海市	3,622
		美浜町	1,467
		阿久比町	1,206
		その他県内	8,445
	計	45,450	
		岐阜県	516
	三重県	409	
	その他県外	425	
内外計		46,800	
合計		126,738	



※人がある目的をもって、ある地点からある地点へ移動する単位で、1回の移動でいくつかの交通手段を乗り継いでも1トリップと数える。

※発生量とは対象地域から発生するトリップで単位はトリップ。また、対象地域へ集中するトリップを集中量という。

(中京都市圏総合都市交通計画協議会)

図：発生集中交通量の都市別割合

資料：第5回中京都市圏パーソントリップ調査(2011年)

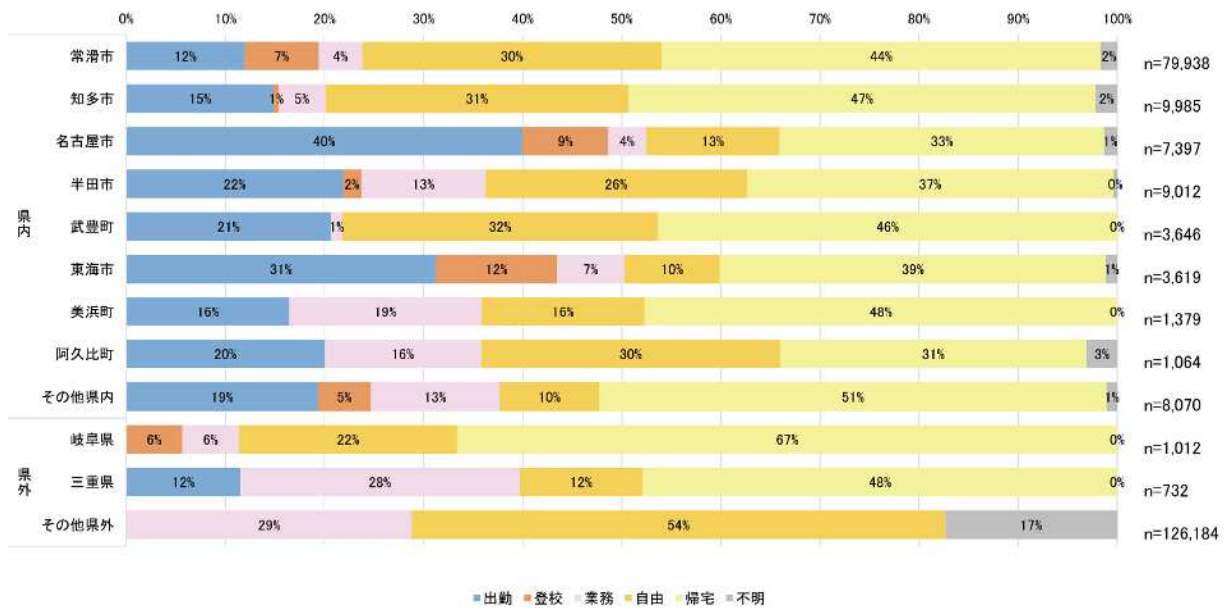
(5) 都市間の移動目的

知多市、半田市、名古屋市への移動が多くなっており、名古屋市と東海市は他の市町と比べて「通勤」「登校」の占める割合が高くなっています。

【常滑市→各市町】

単位：トリップ/日

		出勤	登校	業務	自由	帰宅	不明	計	
内内	常滑市	9,549	5,965	3,543	24,124	35,427	1,330	79,938	
内外	愛知県	知多市	1,483	53	470	3,054	4,707	218	9,985
		名古屋市	2,956	640	283	997	2,422	99	7,397
		半田市	1,970	166	1,131	2,377	3,334	34	9,012
		武豊町	753	0	42	1,161	1,690	0	3,646
		東海市	1,131	442	245	350	1,409	42	3,619
		美浜町	227	0	267	227	658	0	1,379
		阿久比町	213	0	168	321	329	33	1,064
		その他県内	1,563	429	1,049	812	4,132	85	8,070
	計	10,296	1,730	3,655	9,299	18,681	511	44,172	
	岐阜県	0	57	58	223	674	0	1,012	
	三重県	38	0	93	41	158	0	330	
	その他県外	0	0	211	394	0	127	732	
内外計		10,334	1,787	4,017	9,957	19,513	638	46,246	
合計		19,883	7,752	7,560	34,081	54,940	1,968	126,184	



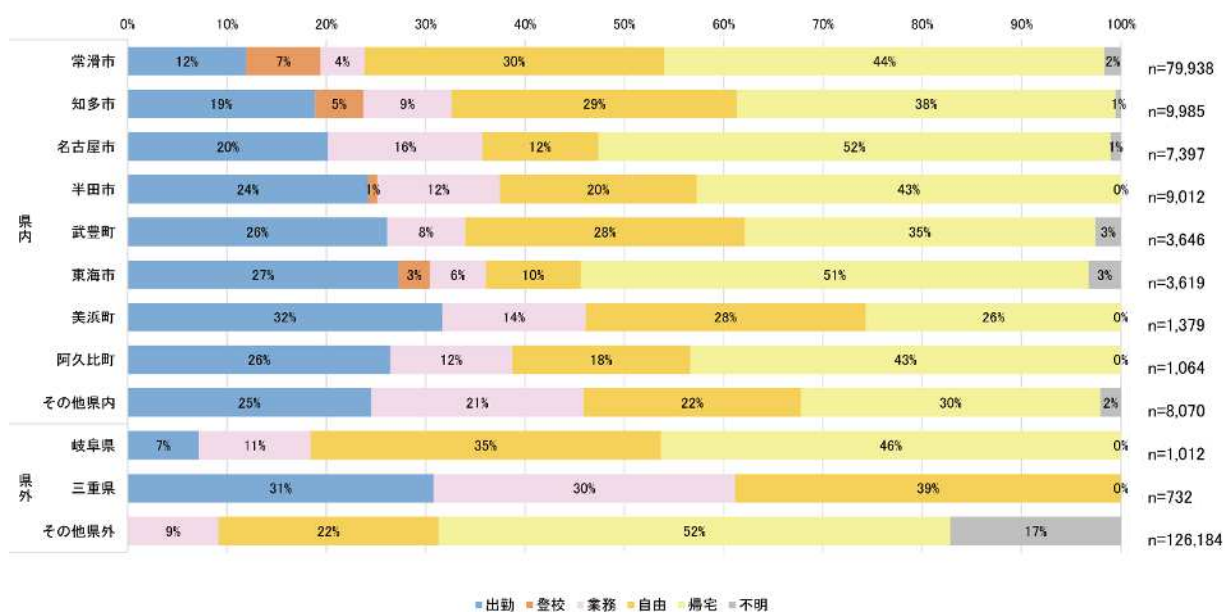
図：本市から各市町への移動目的別トリップの割合

出典：第5回中京都市圏パーソントリップ調査(2011年)

【各市町→常滑市】

単位：トリップ/日

		出勤	登校	業務	自由	帰宅	不明	計	
内内	常滑市	9,549	5,965	3,543	24,124	35,427	1,330	79,938	
内外	愛知県	知多市	1,952	506	921	2,969	3,953	55	10,356
		名古屋市	1,652	0	1,269	954	4,221	87	8,183
		半田市	1,979	68	1,011	1,616	3,485	0	8,159
		武豊町	1,048	0	315	1,129	1,416	104	4,012
		東海市	988	114	204	346	1,851	119	3,622
		美浜町	465	0	211	414	377	0	1,467
		阿久比町	319	0	148	216	523	0	1,206
		その他県内	2,071	0	1,804	1,849	2,545	176	8,445
	計	10,474	688	5,883	9,493	18,371	541	45,450	
	岐阜県	37	0	58	182	239	0	516	
	三重県	126	0	124	159	0	0	409	
	その他県外	0	0	39	94	219	73	425	
内外計	10,637	688	6,104	9,928	18,829	614	46,800		
合計	20,186	6,653	9,647	34,052	54,256	1,944	126,738		



図：各市町から本市への移動目的別トリップの割合

出典：第5回中京都市圏パーソントリップ調査(2011年)

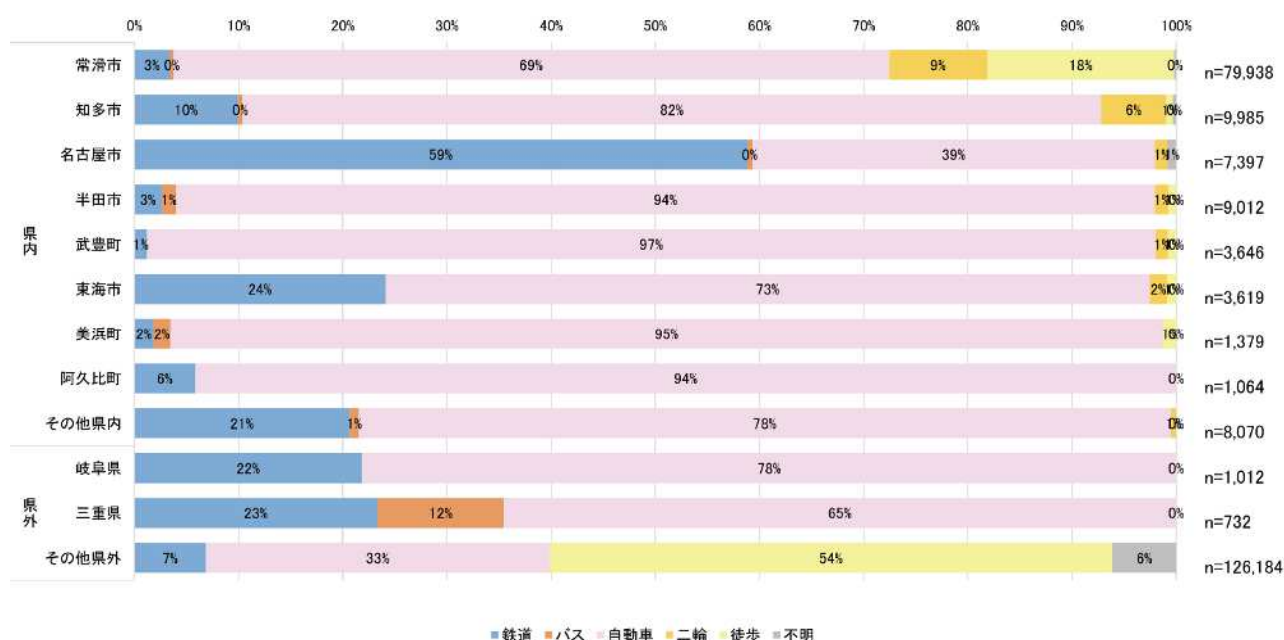
(6) 都市間の移動手段

市内（内内）での移動手段は他市町と比べ「二輪」、「徒歩」の占める割合が高くなっています。市外（内外）との移動手段は名古屋市と東海市は自動車での移動が多いが「鉄道」も一定数を占めている一方で、知多市は鉄道で接続しているが自動車での移動が多くなっています。

【常滑市→各都市】

単位：トリップ/日

		鉄道	バス	自動車	二輪	徒歩	不明	計	
内内	常滑市	2,727	290	54,882	7,542	14,338	159	79,938	
内外	愛知県	知多市	992	43	8,230	623	64	33	9,985
		名古屋市	4,352	36	2,859	87	0	63	7,397
		半田市	238	123	8,467	116	68	0	9,012
		武豊町	44	0	3,530	42	30	0	3,646
		東海市	873	0	2,653	61	32	0	3,619
		美浜町	25	23	1,313	0	18	0	1,379
		阿久比町	62	0	1,002	0	0	0	1,064
		その他県内	1,667	70	6,291	42	0	0	8,070
	計	8,253	295	34,345	971	212	96	44,172	
	内外	岐阜県	221	0	791	0	0	0	1,012
三重県		77	40	213	0	0	0	330	
その他県外		50	0	242	0	395	45	732	
内外計		8,601	335	35,591	971	607	141	46,246	
合計		11,328	625	90,473	8,513	14,945	300	126,184	



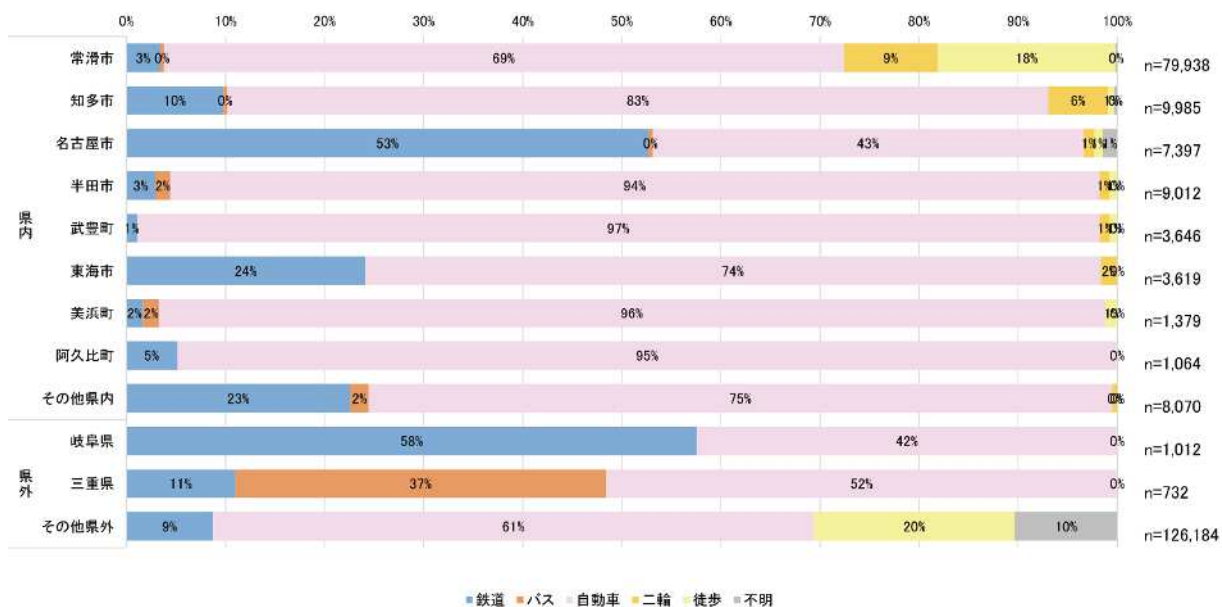
図：本市から各市町への移動手段別トリップの割合

資料：第5回中京都市圏パーソントリップ調査(2011年)

【各都市→常滑市】

単位：トリップ/日

		鉄道	バス	自動車	二輪	徒歩	不明	計	
内内	常滑市	2,727	290	54,882	7,542	14,338	159	79,938	
内外	愛知県	知多市	1,013	43	8,580	623	64	33	10,356
		名古屋市	4,311	36	3,558	87	69	122	8,183
		半田市	238	123	7,652	78	68	0	8,159
		武豊町	44	0	3,896	42	30	0	4,012
		東海市	873	0	2,688	61	0	0	3,622
		美浜町	25	23	1,401	0	18	0	1,467
		阿久比町	62	0	1,144	0	0	0	1,206
		その他県内	1,909	152	6,342	42	0	0	8,445
	計	8,475	377	35,261	933	249	155	45,450	
	岐阜県	297	0	219	0	0	0	516	
三重県	45	153	211	0	0	0	409		
その他県外	37	0	258	0	86	44	425		
内外計	8,854	530	35,949	933	335	199	46,800		
合計		11,581	820	90,831	8,475	14,673	358	126,738	



図：各市町村から本市への移動手段別トリップの割合

資料：第5回中京都市圏パーソントリップ調査(2011年)

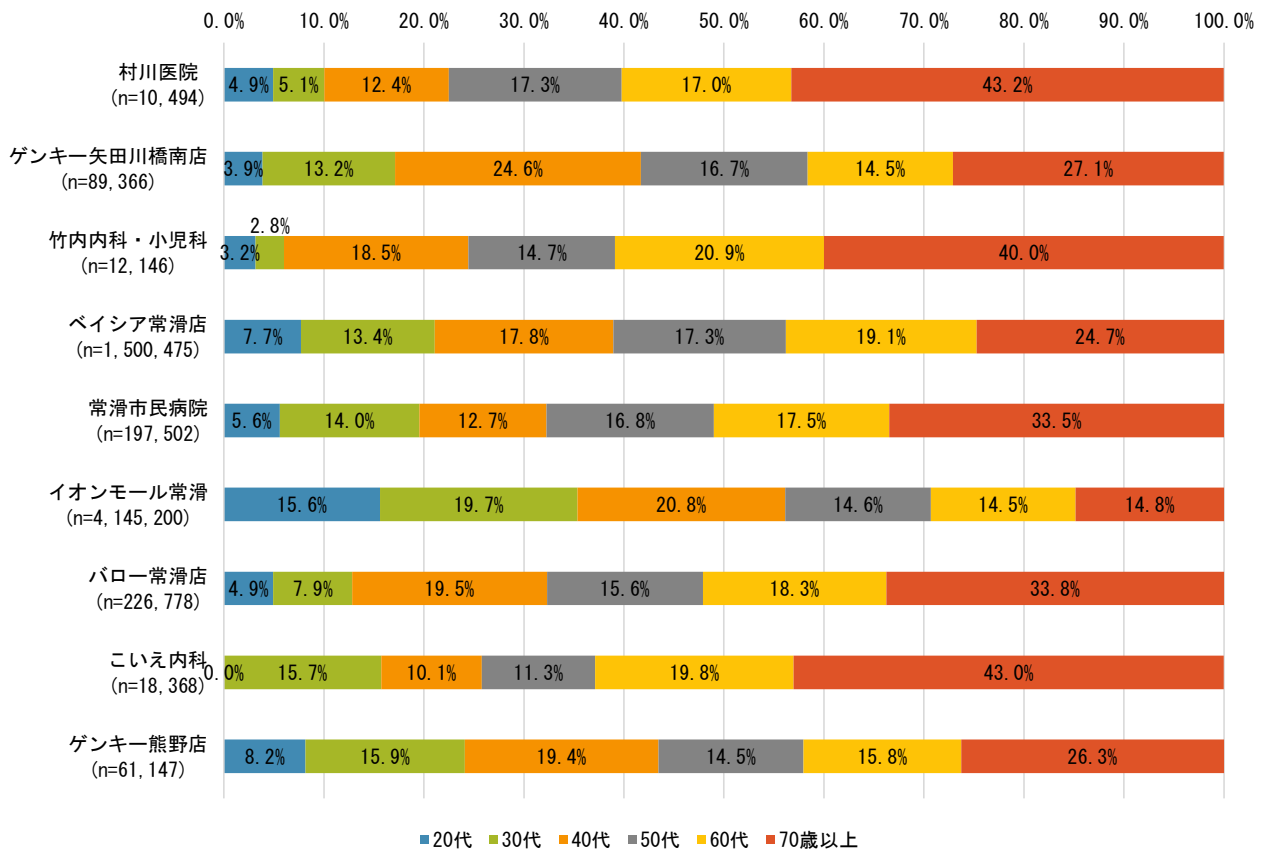
1-7 携帯位置情報による行動分析

表：集計期間並びに集計施設、分析条件

集計期間	2022年6月1日～2023年5月30日
集計施設	常滑市民病院、常滑駅、イオンモール常滑、パロー常滑店、こいえ内科、ゲンキー熊野店、ベシシア常滑店、竹内内科・小児科、ゲンキー矢田川橋南店、村川医院
分析内容	年齢別来訪者分析、時間帯別来訪者分析
分析条件	<ul style="list-style-type: none"> ・KDDI Location Analyzerを用いて集計(KDDIがau スマートフォンユーザー同意のもとで取得し、誰の情報であるかわからない形式に加工した位置情報データおよび属性情報を使用) ・滞在時間が15分以上の来訪者(ただし、鉄道駅は0分以上滞在した人を集計) ※来訪者は公共交通を利用した人に限らない ・イオンモール常滑は地上の駐車場エリアは分析対象範囲から除く(屋上駐車場は含む) ・勤務者を除き、来訪者のみを集計

(1) 年齢別来訪者分析

医療施設は60代以上の来訪割合が多く、特にこいえ内科、竹内内科・小児科、村川医院は全体の約6割以上が60代以上となっています。また、主な商業施設(スーパー等)は40代以上の来訪が約8割以上ですが、イオンモール常滑は観光施設でもあるため、20代や30代の若い世代からの来訪が約3割以上を占めています。

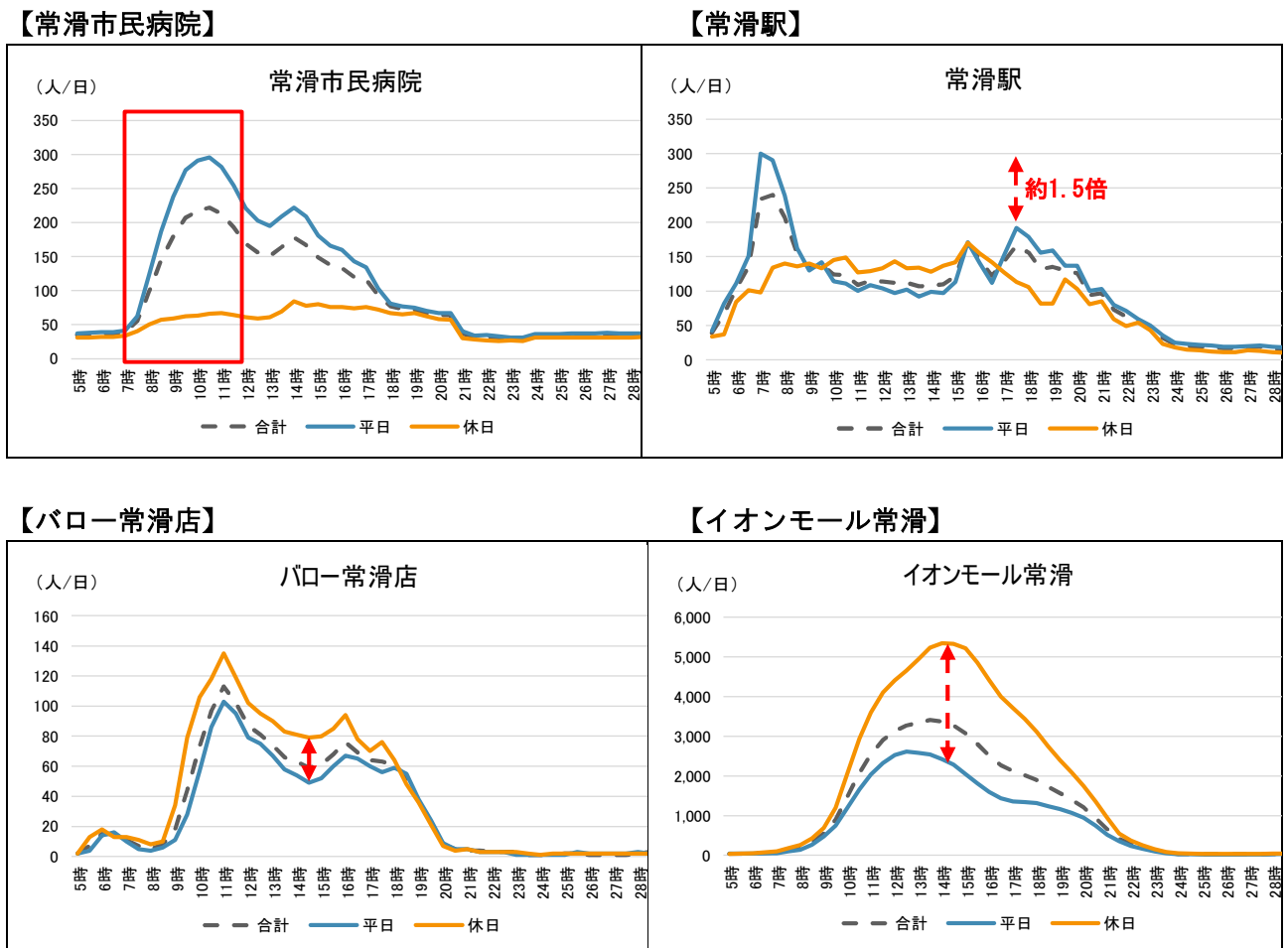


図：各施設の来訪者の年齢別割合(2022年)

出典：KDDI Location Analyzer

(2) 時間帯別来訪者分析

常滑市民病院は特に午前時間帯に来訪が集中しています。また、平日の常滑駅は朝の通勤時間がピーク時間となっており、夕方の帰宅時間と比べて1時間あたりの利用が約1.5倍となっています。バロー常滑店は午前中にピーク時間がある一方で、イオンモール常滑は昼の時間帯にピーク時間があります。同じ商業施設でも、バロー常滑店のような身近なスーパーは平日・休日の来訪者に差がないですが、イオンモール常滑のような大型ショッピング施設は平日・休日の来訪者に大きな差があることがわかります。



図：各施設の時間帯別来訪者数（2022年）

出典：KDDI Location Analyzer

1-8 アンケート調査について

(1) アンケート調査の概要

1) 市民アンケート調査

- ・ 15歳以上の市民1,500人 地域別・年齢別に抽出
- ・ 配布は郵送による・回収は郵送もしくはインターネット（Web回答対応）
- ・ 市民の外出傾向や公共交通の利用状況を把握するとともに、**非利用者の移動ニーズ・潜在的需要、利用促進施策への参考**とする。

表：市民アンケート回収率等

配布数	回収数			回収率	WEB回答率
	紙回収	WEB回収	計		
1,500	504	197	701	46.7%	28.1%

2) 利用者アンケート調査結果

- ・ 公共交通利用者に配布
- ・ 主要駅（常滑駅、りんくう常滑駅、大野町駅、榎戸駅）で調査員の手配り
→2023年5月17日 11:00～19:00に実施
- ・ タクシー運転手からタクシー利用者に手配り
→2023年5月17日～1週間程度
- ・ **主に利用者の利用状況把握、将来の改善策の参考**とする。

表：利用者アンケート回収率等

配布数	回収数			回収率	WEB回答率
	紙回収	WEB回収	計		
1,163	252	102	354	30.4%	28.8%

(2) アンケート調査結果

1) 市民アンケート調査

「資料2【別添3】」に全項目の調査結果を示す。

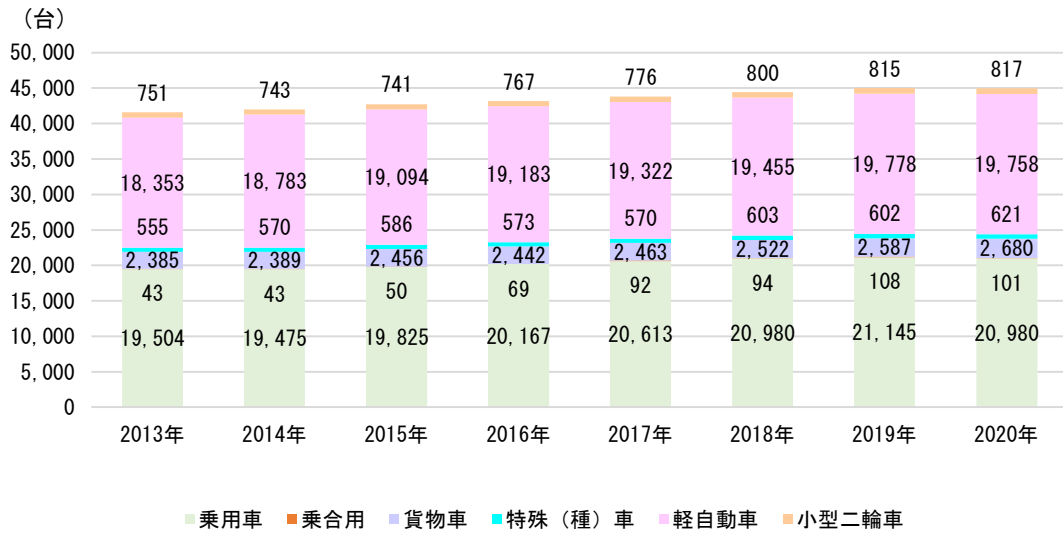
2) 利用者アンケート調査

「資料2【別添4】」に全項目の調査結果を示す。

1-9 その他

(1) 自動車保有台数

本市の自動車保有台数は2013年から2020年にかけて、総台数も種別台数もほぼ横ばいで推移しています。



図：自動車保有台数の推移

資料：愛知県統計年鑑